

メダカの種類いろいろ

# めだかの館



# 「100年メダカ」メダカ村 村長より



私が、メダカの魅力に引き込まれ、はや10年が過ぎようとしています。その間、メダカを通し数え切れないほどの素晴らしい出会いがありました。

昨年夏には、私の長年の夢であった「第1回・全日本メダカ品評会」を当館で盛大に開催することができ、ご協力頂きました全国のメダカの愛好家の皆様には、まずはこの場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

開催にあたり、出品頂いた約100点もの色とりどりのメダカを眺めつつ、初めてメダカと出会った10年前を思い起こしました。

私が初めてメダカの魅力に取り付かれた理由の1つは、知人より譲り受けた数匹のダルマメダカが、きっかけでした。

このダルマメダカを何とか増やしたい一心で、専門の知識もないままあれこれ試行錯誤を繰り返し、メダカを飼っている方が居ると聞けば遠くは関東までも飼育法を聞きに何うなど、寝食を忘れメダカ飼育の研究に没頭しておりました。

月日が経ち、今では日本中にメダカ愛好家が増え、これほどの品評会を開催するまでに至り、開催期間中には800人を超える多くの方が見学に訪れたほか、連日の取材やテレビ中継、数千件を超えるインターネットによる投票などを通し、日本人の持つメダカへの想いや可能性を強く感じる事が出来ました。

また、秋には全国のメダカ愛好家が一同に集い、「メダカ愛好家懇談会（通称：メダカ・サミット）」も当館にて盛大に行い、今後のメダカ文化の発展に向けて真剣な議論を交わし合い、以前から提案させて頂いていた「メダカ文化の普及・構築・発展に向けた全国規模の組織」の立ち上げに向けて、新たな一歩を踏み出すに至りました。

今後、新種メダカの作出は登録制とし、固定率のデータ採集などを行った上で、全国のメダカ愛好家有志で作る「全日本メダカ協会(仮)公認の新種メダカ」として、世間に広く公表してゆく方向で協議を重ねております。

これにより、プロ・アマ問わず、新種メダカを作出した方の名前や作出品種を、後世に残してゆく道筋が仕上がって参りました。

私の夢は、皆様に100年間愛されるメダカを作出する事です。

そして、この新種メダカを金魚や錦鯉に続く第3の観賞魚として、日本文化に根ざしてゆく事です。

この「100年メダカ」を合言葉に、今年は勝負の年として頑張っけてゆきます。愛好家の皆様におかれましても、メダカ文化の興隆に共に歩んで頂けたら幸いです。

最後になりましたが、このカタログ制作にあたり1年間にわたって、構成やメダカの撮影や解説文に尽力下さった、「enjoy MEDAKA」のマコト君に深く感謝すると共にお礼の言葉を贈りたいと思います。

めだかの館 大場幸雄

## <スタッフ紹介>



### ◆のつ

当店の番頭です。なんでもこなす器用な人間です。めだかの昼食は、のつさんの手料理なのです。あまりのおいしさに料理長と呼ばれています。



### ◆ヒデ

めだかの館に勤め3年になるヒデです。去年はパソコン漬けの毎日で、メダカにあまり関われませんでした。今年はスタッフも増えメダカと戯れる時間が増えそうですので、新種メダカ作りに燃えたいと思います。過去に無い、今までに無いものを作り出す、という事はとても楽しいし、やりがいがある事だと思います。みなさんも新種メダカを目指して、メダカ飼育を楽しみましょう。



### ◆タカ

今年もメダカの飼育、繁殖、新種メダカ作りにはげんでいるタカです。

現在のメダカは体色、体型ともに色々な種類があります。鯉や金魚とともに、メダカも日本の文化になると僕は思います。

一緒に作り上げましょう、メダカ文化。



### ◆トシ

飼育担当のトシです。

毎日メダカの飼育をして、楽しい事や新しい発見が沢山あります。

そんな素敵な時間を、皆さんと楽しんでいきたいと思ひます。宜しくお願いします。



### ◆マコト

enjoy MEDAKAというメダカサイトを運営しておりますマコトです。店員さんではありませんが、大場さんの人柄、めだかの館のメダカに惹かれ、毎週のようにめだかの館にお邪魔させていただいております。もっともっと多くの方々に、メダカの楽しさを知ってもらう為に、サイトの運営にも力を入れ、大場さん、めだかの館のスタッフ、メダカ愛好家の方々と共に力を合わせ、改良メダカの世界を盛り上げていければと思っております。宜しくお願いいたします。

## めだか村のご案内（店内の様子）

当店では、ご来店のお客様に、のんびり、リラックスして、盆栽やメダカをご覧になっていただけるように、店内には遊び心をいかした空間や、ベンチ、テーブルを設置し、癒しの空間作りに努めております。



店には約5,000本のさつきがあります。交換会やイベント時には、たくさんの方にご来園いただいています。



メダカ村(メダカハウス)内の様子です。ここでは1年中、約50種類以上の新種交配を行っています。常時気温を25度以上にしていきますので、年中卵を採る事ができます。



また、いろいろな種類のメダカを上からだけでなく、ガラス水槽で横から見たり、種類別にわかりやすく展示した常設展示場がございます。

ガラス水槽は大小あわせて約100水槽、プランター水槽約100水槽で、常時メダカをごゆっくりご覧になっていただくことができます。





その他、屋外にも数万匹のメダカを飼育しております。



**お近くにおいでになった際には、ぜひご来店ください。**

## ～さつきセンター年間行事～

- 1月（上旬） 瀬戸内さつき会 新春展（センター内）
- 2月 さつき、鹿沼土、資材、鉢、肥料入荷
- 3月 さつき 新木の根洗い、鉢の植替え
- 4月（中旬） 春の植木祭り 10日間開催（西区商工センター）  
（下旬） 春のグリーンフェア 10日間開催（中央公園）  
（みどりの日） 瀬戸内さつき会 なんでも交換会（オークション）（センター内）
- 5月（上旬） 春の全国メダカ品評会（センター内）
- 6月（上旬） 廿日市さつきまつり
- 9月 秋の全国メダカ品評会（センター内）
- 10月 瀬戸内さつき会  
秋の何でも交換会（オークション）（センター内）
- 11月 さつき盆栽秋季大展示会（産業会館）

### ●瀬戸内さつき会 さつき教室

場所 広島さつきセンター内

日時 毎月第1、第3日曜日10時～

さつきの初歩から展示会出品まで、さつき愛好家が集い、さつき盆栽作りを行っています。難問、珍問が飛び出し、爆笑の渦!! 今お持ちでお悩みのさつきを、どんどん当教室へお持ちください。みんなのアドバイスにて、さつき銘品への第一歩。お気軽にご参加ください。

### ●山野草教室

場所 広島さつきセンター内

日時 毎月第3火曜日13時～

四季折々の草花などを元に、山野草盆栽作りをしています。近所の若奥様、元若奥様を中心にワイワイガヤガヤ楽しんでいます。元若旦那様募集中です。

メダカグッズ

## 当店使用のメダカグッズの販売

### ◎当店おすすめ！メダカの餌

- 1号 稚魚用 孵化より3, 4週間用
- 2号 中間魚用 孵化より1～2ヶ月用
- 3号 成魚用

各種

100g	400円
500g	1,500円
1kg	2,800円
2kg	4,500円
5kg	10,000円 (3号のみ)

### ◎当店おすすめ！産卵用シュロ

熱湯処理していますので、すぐに使用可能です。

シュロ	
3本	900円
5本	1,400円



### ◎メダカサンド／バイオフィルター

室内でバイオフィルター（底面フィルター）と同時使用にて、透き通った水を作ります。（エアポンプが必要です）

発売して15年、世界8ヶ国に輸出中。特許取得。

◎発売元 株式会社 広瀬

メダカサンド

8kg (60cm水槽用) 4,500円



◎発売元 ニッソー KK

バイオフィルター	60	1,000円
	45	800円
	30	700円



## 携帯サイト

右のQRコードよりバーコードつき携帯で読み込んでください。携帯版ホームページではメール会員を募集しています。会員登録していただいた方には、**めだかの館の新着情報、会員特価などお得な情報**をメールにてお知らせします。



### ■めだかの館メール会員登録の仕方

- ① ホームページに入っていたいただき最初表示される「めだかの館メール会員募集中」の項目を押してください。
- ② 次に表示される文章をご購読いただき「メール会員登録」の項目を押してください。
- ③ 次にメール送信画面が表示されますので、何も記入せずそのままメールを送信してください。
- ④ 以上で会員登録終了となります。

### ■バーコード付き携帯をお持ちでない方、QRコードの読み込み方がわからない方

下記のアドレスに空メール(件名、本文に何も記入せず)を送るだけでメール会員になれます。

**7123682@7123682.r.just.st**

# メダカの年表

～めだかの館作出オリジナルメダカ、めだかの館認定メダカ一覧～

2001  
 ピュアブラック (黒べえ)  
 ピュアブラックヒカリ (小次郎)  
 黄金 (安芸黄金)  
 黄金ヒカリ (秀吉)  
 スモールアイ各色

2002  
 ピュアブラック黄金 (利休)  
 ピュアブラック黄金ヒカリ (武蔵)  
 スモールアイダルマ各色  
 黄金ダルマ (金鱗丸)  
 黄金ヒカリダルマ (金皇丸)  
 黄金スモールアイ  
 黄金ヒカリスモールアイ

2003  
 ピュアブラックダルマ (小錦)  
 ピュアブラック黄金ダルマ (武蔵丸)  
 黄金ヒカリダルマスモールアイ  
 スモールアイヒカリダルマ各色  
 ピュアホホワイト  
 ピュアホホワイトヒカリ (雪虫)  
 ピュアホホワイトダルマ  
 ピュアホホワイトヒカリダルマ (白鵬)  
 サムライ黄金  
 サムライ黄金ヒカリダルマ (政宗)

2004  
 ピュアブラックヒカリダルマ (弁慶)  
 ピュアブラック黄金ヒカリダルマ (義経)  
 スカイブルー  
 スカイブルーヒカリ (静香)  
 楊貴妃  
 琥珀  
 琥珀ヒカリ (暁)  
 琥珀ダルマ (琥珀丸)  
 琥珀ヒカリダルマ (琴琥)  
 琥珀スモールアイ (大和)  
 琥珀スモールアイダルマ  
 琥珀スモールアイヒカリダルマ  
 サムライ琥珀

2005  
 スカイブルーダルマ  
 スカイブルーヒカリダルマ  
 楊貴妃ヒカリ (東天光)  
 楊貴妃ダルマ (初恋)  
 楊貴妃ヒカリダルマ (朱天皇)  
 楊貴妃スモールアイ (楼蘭)  
 楊貴妃ヒカリスモールアイ (紅蘭)  
 シルバーヒカリ (銀河)  
 シルバーヒカリダルマ (煌)

2006  
 出目メダカ ……《作出者 埼玉県 大野さん》  
 出目メダカ ……《作出者 埼玉県 大野さん》  
 舞姫 (オレンジスーパーヒカリ)  
 ……《作出者 福岡県 小宮さん》  
 サムライ透明鱗 (時宗)  
 ……《作出者 愛媛県 北条さん》  
 透明鱗スモールアイ  
 透明鱗ヒカリスモールアイ  
 透明鱗ダルマスモールアイ  
 透明鱗ヒカリダルマスモールアイ  
 透明鱗小錦  
 透明鱗利休

2007  
 琥珀透明鱗  
 白透明鱗ヒカリ (白鱗)  
 ……《作出者 愛媛県 近藤さん、北条さん》  
 白透明鱗ヒカリダルマ (白鱗)  
 ……《作出者 愛媛県 近藤さん、北条さん》  
 バンダダルマ ……《作出者 愛媛県 近藤さん》  
 バンダヒカリ ……《作出者 愛媛県 近藤さん》  
 バンダヒカリダルマ  
 ……《作出者 愛媛県 近藤さん》  
 出目バンダ ……《作出者 愛媛県 近藤さん》  
 鉄仮面 ……《発見者 埼玉県 藤井さん》  
 目前透明鱗 ……《発見者 徳島県 木下さん》  
 幹之 ……《発見者 愛媛県 菅さん》

メダカ界

2008

ビッグニュース

今春発売予定

幹之メダカ

2007年、第1回めだか品評会に愛媛県 菅さんより出品。

めだかの館賞を受賞したメダカです。

菅さんの娘さんの名前を頂き【幹之】と命名。

その後、メダカ村で預かり、他種のメダカと交配中。

体色は白、黄、青、錦（ブチ）。

体型は普通種、ダルマ、半ダルマ。

品評会において人気投票では、票を得る事ができませんでした。

インターネットの人気投票でも、票を得る事ができませんでした。

品評会中に訪れたテレビ局の方々には大変人気で、各テレビ局4社、新聞社など全社に取材され、何度もテレビで紹介されました。

品評会での出品名は【背中光強メダカ】です。

人気投票で票が得られなかった理由として、

- 出品名の光強、光（ホタル）メダカの光が強いただけと思い、見学者の興味を引けなかった。
- 品評会はガラス水槽で横から見るため、光の特徴がよく見えなかった。
- 黒い器に入れ、上から見てもらおうと光強が理解してもらえたと思うが、審査





を公平にするため特別扱いはできなかった。  
などが考えられます。

今回の幹之の写真は、現在（平成20年1月）の写真を載せています。  
5ヶ月間で光は増し、プラチナのごとく光るようになりました。  
黒い器での撮影、光がよく確認でき、魅力的です。

### 幹之メダカの特徴

- 体型は光（ホタル）メダカとは異なり、普通種体型です。
- 光（ホタル）メダカの光は、腹の虹色細胞が背中に移った虹色細胞の光であるが、幹之メダカの光は何の光なのか不明。
- 光（ホタル）メダカの光る場所は、背ビレの前が光っているが、幹之の光は背ビレの後ろが多く、尾ビレや腹ビレなど、ヒレ部にも多く見られる。
- 背中、ヒレ以外にも光を発見。遺伝を確認のため交配中。
- 昨年、幹之×幹之の交配により、F1数匹に光の遺伝は確認済み。遺伝率は現在不明。
- 光はS寸では確認できず、M寸にて確認。光の範囲が広がるのを確認。L寸の幹之にて光がどう変化するのか、今後の楽しみ。
- 光強×光強、F1×F1、兄弟×兄弟、光強×異種など15以上の水槽にて交配中。毎日観察していますが、何か不思議なメダカです。

いずれにせよ、私の9年間の知っているメダカ知識には無い、新メダカと思っています。  
現在、他種との交配を楽しんでいます。  
2～3年の内には、“幹之新種シリーズ”が完成される事を夢み、幹之メダカの紹介とします。



# ピュアブラックメダカ



ピュアブラック(黒べえ)



ピュアブラック(黒べえ)



ピュアブラックダルマ(小錦)



ピュアブラックダルマ(小錦)



ピュアブラックヒカリ(小次郎)



ピュアブラックヒカリ(小次郎)



ピュアブラックヒカリダルマ(弁慶)



ピュアブラックヒカリダルマ(弁慶)

### ピュアブラックメダカの特徴

2001年ピュアブラック作出より、2004年にはピュアブラックヒカリダルマまで作出に成功しました。体色が純黒で保護色の機能がほとんど無く、どんな色の容器に入れても純黒です。体型は頭長くスマートで、目が小さく点です。現在いろいろなスマールアイを作出してきましたが、その原点となるメダカです。ピュアブラック同士の交配においてもピュアブラックが生まれる確立は低く、貴重なメダカです。目はほとんど見えていないため、他のメダカに比べ少しデリケートな面もあります。飼育繁殖共に上級者向けのメダカです。



種類	体 型 (ニックネーム)	匹 数	価 格 (円)
ピュアブラックメダカ	普通種 (黒べえ)	1 匹	5,000~20,000
		1 ペア	10,000~40,000
	ヒカリ (小次郎)	1 匹	10,000~30,000
		1 ペア	20,000~60,000
	ダルマ (小錦)	1 匹	10,000~200,000
ヒカリダルマ (弁慶)	1 匹	30,000~200,000	

※体色により価格が変わります。

# ピュアブラック黄金メダカ



ピュアブラック黄金(利休)



ピュアブラック黄金(利休)



ピュアブラック黄金ヒカリ(武蔵)



ピュアブラック黄金ヒカリ(武蔵)



ピュアブラック黄金ダルマ(武蔵丸)



ピュアブラック黄金ダルマ(武蔵丸)



ピュアブラック黄金ヒカリダルマ(義経)



ピュアブラック黄金ヒカリダルマ(義経)

### ピュアブラック黄金メダカの特徴

2002年に当館にて作出。ピュアブラックのヒレに黄金色が入り、大変美しく渋いメダカです。ピュアブラックと同様に体色が茶黒でヒレが黄金色で保護色の機能がほとんど無く、どんな色の容器に入れても純黒です。体型は頭長くスマートで、目が小さく点です。ピュアブラック以上に生まれてくる確立は低く、とても貴重なメダカです。目はほとんど見えていないため、他のメダカに比べ少しデリケートな面もあります。飼育繁殖共に上級者向けのメダカです。



種類	体 型 (ニックネーム)	匹 数	価 格 (円)
ピュアブラック黄金メダカ	普通種 (利休)	1 匹	5,000~20,000
		1 ペア	10,000~40,000
	ヒカリ (武蔵)	1 匹	20,000~50,000
		1 ペア	30,000~100,000
	ダルマ (武蔵丸)	1 匹	30,000~150,000
	ヒカリダルマ (義経)	1 匹	100,000~200,000

※体色により価格が変わります。

# 黄金メダカ



黄金(安芸黄金)



黄金(安芸黄金)



黄金ダルマ(金鱗丸)



黄金ダルマ(金鱗丸)



黄金ヒカリ(秀吉)



黄金ヒカリ(秀吉)



黄金ヒカリダルマ(金皇丸)



黄金ヒカリダルマ(金皇丸)

### 黄金メダカの特徴

2001年に当館にて作出。黄金色が非常に美しいメダカです。黄金メダカは、黄金と薄黄金の2種類の色が存在し、黄金は深い黄金色で、薄黄金は淡い黄金色をしています。白い容器に入れると体色がはっきりします。



黄金メダカの集団



茶メダカと黄金の比較(上)茶メダカ  
(下)黄金メダカ

種類	体 型 (ニックネーム)	匹 数	価 格 (円)
黄金メダカ	普通種 (安芸黄金)	1 匹	1,000
		1 ペア	2,000
		オス3匹+メス3匹+1匹	5,000
	ヒカリ (秀吉)	1 匹	2,000
		1 ペア	4,000
		オス2匹+メス2匹+1匹	8,000
	ダルマ、半ダルマ (金鱗丸)	1 匹	3,000
		1 ペア	6,000
	ヒカリ半ダルマ、 ヒカリダルマ (金皇丸)	1 匹	7,000
		1 ペア	14,000

# 琥珀メダカ



琥珀



琥珀



琥珀ダルマ(琥珀丸)



琥珀ダルマ(琥珀丸)



琥珀ヒカリ(暁)



琥珀ヒカリ(暁)





琥珀ヒカリダルマ(琴琥)



琥珀ヒカリダルマ(琴琥)

### 琥珀メダカの特徴

2004年に当店にて作出したメダカです。琥珀色の体色と、あざやかなオレンジ色の尾ビレが印象的です。固定率は70～95%で、体色が濃い上物の琥珀から、薄い色の琥珀までいろいろ生まれてきます。婚姻色が出ると神秘的なメダカになります。



琥珀メダカの集団



黄金メダカと琥珀メダカの比較(上)琥珀メダカ  
(下)黄金メダカ

種 類	体 型 (ニックネーム)	匹 数	価 格 (円)
琥珀メダカ	普通種 (琥珀)	1 匹	1,000
		1ペア	2,000
		オス3匹+メス3匹+2匹	6,000
	ヒカリ (晩)	1 匹	3,000
		1ペア	5,000
		オス2匹+メス2匹+1匹	12,000
	ダルマ、半ダルマ (琥珀丸)	1 匹	4,000
		1ペア	7,000
	ヒカリ半ダルマ、 ヒカリダルマ (琴琥)	1 匹	7,000
		1ペア	14,000

# 楊貴妃メダカ



楊貴妃



楊貴妃



楊貴妃ダルマ(初恋)



楊貴妃ダルマ(初恋)



楊貴妃ヒカリ(東天光)



楊貴妃ヒカリ(東天光)



楊貴妃ヒカリダルマ(朱天皇)



楊貴妃ヒカリダルマ(朱天皇)

### 楊貴妃メダカの特徴

2004年に当店にて作出。とても赤みが強い、朱赤のメダカです。稚魚や小さい時は緋メダカよりも薄い体色をしていますが、成長とともに色が濃くなり、M～L寸には朱赤になります。また、産卵期の婚姻色でより赤になります。体色固定率は普通種99%、ヒカリ、ダルマ、ヒカリダルマは70～90%です。



楊貴妃メダカの集団

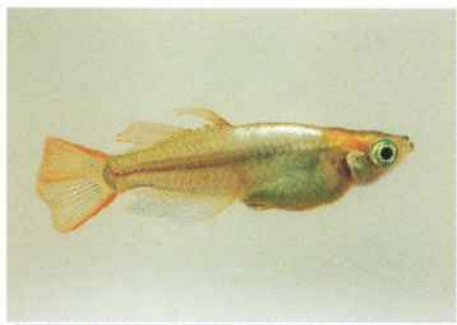


黄メダカと楊貴妃の比較(上)楊貴妃  
(下)黄メダカ



種類	体 型 (ニックネーム)	匹 数	価 格 (円)
楊貴妃メダカ	普通種 (楊貴妃)	1 匹	3,000
		1 ペア	5,000
		オス 2 匹 + メス 2 匹 + 2 匹	10,000
	ヒカリ (東天光)	1 匹	5,000
		1 ペア	9,000
		オス 2 匹 + メス 2 匹 + 1 匹	15,000
	半ダルマ	1 匹	6,000
		1 ペア	11,000
	ダルマ (初恋)	オス 2 匹 + メス 2 匹	18,000
		1 匹	8,000
ヒカリダルマ、半ダルマ (朱天皇)	1 ペア	15,000	
	オス 2 匹 + メス 2 匹	25,000	
ヒカリダルマ、半ダルマ (朱天皇)	1 匹	10,000	
	1 ペア	20,000	

# サムライメダカ (セルフイン)



黄金サムライ



黄金サムライ



楊貴妃サムライ



アルビノサムライ



青サムライ



茶サムライ

体型はヒカリ、ヒカリダルマ。ヒレの形は個体によってさまざまです。  
体色は黄、黄金、シルバー、パール、パープル、透明鱗、楊貴妃、琥珀。その他、各種あります。



琥珀サムライ



サムライダルマ



琥珀ヒカリサムライダルマ



黄金サムライダルマ

### セルフィンメダカの特徴

2003年広島県の近藤発見。翌年2004年にめだかの館作出。

ヒカリメダカの背ビレが2枚に分かれ、背の方のヒレを立てたり、おろしたり、とてもおもしろいヒレの動きをします。背ビレの分かれ方も個体によって様々です。

種類	体 型 (ニックネーム)	匹 数	価 格 (円)
サムライメダカ (セルフィン)	黄金ヒカリ	1 匹	5,000
		1 ペア	10,000
	黄金ヒカリダルマ (政宗)	1 匹	10,000
		1 ペア	20,000
	体色々々ヒカリ	1 匹	5,000~
体色々々ヒカリダルマ	1 匹	10,000~	

※体色により価格が変わります。

# 透明鱗メダカ



透明鱗



透明鱗ダルマ



透明鱗ヒカリ



透明鱗ヒカリダルマ



白透明鱗ヒカリ



白透明鱗ヒカリダルマ



アルビノ透明鱗



アルビノ透明鱗ヒカリ



アルビノ透明鱗ヒカリダルマ



新種 2007年作出

琥珀透明鱗



新種 2007年作出

琥珀透明鱗ヒカリ



新種 2007年作出 琥珀透明鱗透明鱗ヒカリダルマ

### 透明鱗メダカの特徴

一部の部分を除き、虹色素胞が欠失しているためエラが透けて見え、体色も特殊なメダカです。現在の新種メダカとの交配により、さらなる新種が生まれる可能性が高いメダカだと考えております。

種類	体 型 (ニックネーム)	匹 数	価 格 (円)
透明鱗メダカ	普通種 (※注)	1 匹	700
		1ペア	1,500
		オス3匹+メス3匹+1匹	5,000
	ヒカリ (※注)	1 匹	2,000
		1ペア	3,500
		オス2匹+メス2匹+2匹	9,000
	ダルマ、半ダルマ (※注)	1 匹	3,000
		1ペア	6,000
		オス2匹+メス2匹	10,000
	ヒカリ半ダルマ、ヒカリダルマ (※注)	1 匹	4,000
		1ペア	7,000
		1 匹	3,000
	琥珀透明鱗	1ペア	6,000
		オス2匹+メス2匹+1匹	13,000
		1 匹	3,000
	白透明鱗ヒカリ	1ペア	6,000
		オス2匹+メス2匹+1匹	13,000
		1 匹	4,000
白透明鱗ヒカリダルマ、ヒカリ半ダルマ	1ペア	8,000	
	オス2匹+メス2匹+1匹	18,000	
	1 匹	3,000	
アルビノ普通種	1ペア	5,000	
	オス2匹+メス2匹+1匹	12,000	
	1 匹	6,000	
アルビノヒカリ	1ペア	10,000	
	オス2匹+メス2匹	18,000	
	1 匹	6,000	

(※注) 普通種、ヒカリ、ダルマ、半ダルマ、ヒカリ半ダルマ、ヒカリダルマの体色は個体によって異なります。

# パンダメダカ



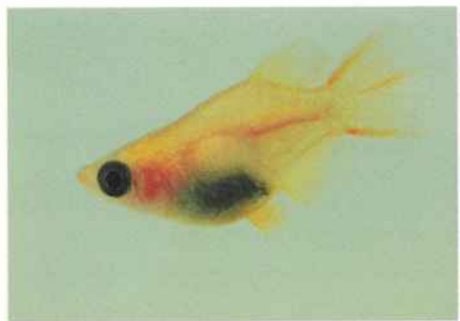
パンダ



パンダダルマ



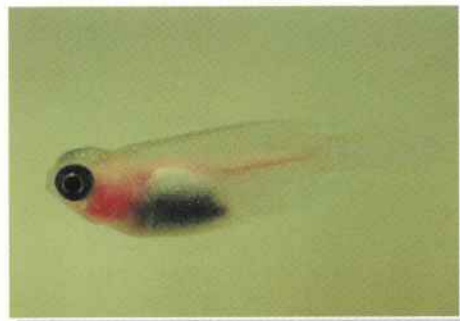
パンダヒカリ



パンダヒカリダルマ



パンダ出目ダルマ



パンダ出目半ダルマ



## パンダメダカの特徴

目の周りが黒っぽく、可愛いメダカです。

パンダメダカ：目と目の周りが90%~99%黒

パンダメダカA：目と目の周りが70~90%黒で、成長により黒が増す事がある（現在研究中）

パンダメダカF1：パンダメダカの子供で、上から見るとパンダ、パンダAと変わらず目が黒く見える。しかし横から見ると黒が少なく、ほとんど普通の目と変わらない。

パンダメダカ×パンダメダカの交配で2水槽チェック(10/16)した結果、100匹中パンダメダカ3~5匹、パンダメダカA5~7匹を確認。約1割のパンダメダカが生まれています。

パンダメダカF1×パンダメダカF1の交配にて、パンダメダカが生まれる確率は、ピュアブラックと同様で3%未満と思われる。

※10月18日、パンダダルメダカ×パンダダルメダカの見分け水槽を選別したところ、128

匹中、パンダダルメダカ、パンダ

ダルメダカA20匹、出目ダルメダカ9匹、

ヒカリパンダ、ヒカリダルメダカ

19匹、パンダメダカF1を65匹、F1

になっていないメダカ15匹を確認。

10月16日の選別より、パンダ遺伝率

が高くなっているのを確認しました。



※体色は黄かピンクになります。

種 類	体 型 (ニックネーム)	匹 数	価 格 (円)
<b>パンダメダカ</b>	パンダ (普通種)	1 匹	4,000
		オス2匹+メス2匹+1匹	15,000
パンダA (普通種)	パンダA (普通種)	1 匹	2,500
		オス2匹+メス2匹+1匹	12,000
パンダF1 (普通種)	パンダF1 (普通種)	1 匹	1,000
		オス4匹+メス4匹+2匹	8,000
パンダヒカリ	パンダヒカリ	1 匹	6,000
		オス2匹+メス2匹+1匹	25,000
パンダヒカリA	パンダヒカリA	1 匹	4,000
		オス2匹+メス2匹+1匹	17,000
パンダヒカリF1	パンダヒカリF1	1 匹	2,000
		オス2匹+メス2匹+1匹	8,000
パンダダルマ	パンダダルマ	1 匹	10,000
		1ペア	20,000
パンダダルマA	パンダダルマA	オス2匹+メス2匹+1匹	40,000
		1 匹	7,000
パンダダルマF1	パンダダルマF1	1ペア	14,000
		オス2匹+メス2匹+1匹	30,000
パンダヒカリダルマ、ヒカリ半ダルマ	パンダヒカリダルマ、ヒカリ半ダルマ	1 匹	2,000
		1ペア	4,000
パンダヒカリダルマF1、ヒカリ半ダルマF1	パンダヒカリダルマF1、ヒカリ半ダルマF1	オス2匹+メス2匹+1匹	9,000
		1 匹	15,000
出目パンダダルマ	出目パンダダルマ	1ペア	30,000
		オス2匹+メス2匹+1匹	60,000
出目パンダヒカリダルマ、ヒカリ半ダルマ	出目パンダヒカリダルマ、ヒカリ半ダルマ	1 匹	10,000
		1ペア	20,000
出目パンダヒカリダルマA、ヒカリ半ダルマA	出目パンダヒカリダルマA、ヒカリ半ダルマA	オス2匹+メス2匹+1匹	45,000
		1 匹	3,000
出目パンダヒカリダルマF1、ヒカリ半ダルマF1	出目パンダヒカリダルマF1、ヒカリ半ダルマF1	1ペア	6,000
		オス2匹+メス2匹+1匹	13,000
出目パンダダルマA	出目パンダダルマA	1 匹	30,000
		1 匹	20,000
出目パンダダルマF1	出目パンダダルマF1	1 匹	10,000
		1 匹	50,000
出目パンダヒカリダルマA、ヒカリ半ダルマA	出目パンダヒカリダルマA、ヒカリ半ダルマA	1 匹	30,000
		1 匹	15,000

# スモールアイメダカ



楊貴妃スモールアイダルマ



楊貴妃スモールアイヒカリダルマ



琥珀スモールアイダルマ



琥珀スモールアイヒカリダルマ



黄金スモールアイダルマ



黄金スモールアイヒカリダルマ



スカイブルースモールアイ



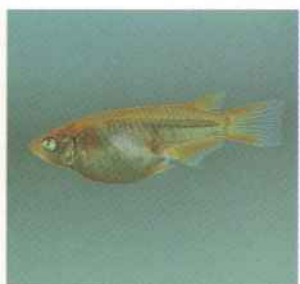
ピュアホワイトスモールアイ



黄金スモールアイヒカリ



黄金スモールアイヒカリダルマ



黄金スモールアイ



黄金スモールアイダルマ



青スモールアイ



シルキースモールアイ



琥珀スモールアイ(大和)



楊貴妃スモールアイ(紅蘭)



楊貴妃スモールアイヒカリ(桜蘭)

### スモールアイメダカの特徴

2001年当店にて作出。1匹のピュアブラック発見より約7年、色々なメダカと交配し多種のスモールアイを作出してきました。現在も色々な種類のメダカと交配させ、色々なスモールアイ作出に励んでおります。スモールアイも出現率が低い為、とても貴重なメダカです。また、保護色の機能が鈍いため、特定の種類以外にも色々な体色のスモールアイをすることもできます。そのため、新色多数で、マニアの方々人気のメダカです。

スモールアイの価格は、体色、体型により異なります。  
ご希望の場合、メールもしくは直接電話にてお問い合わせください。

# 透明鱗スモールアイメダカ



黄金透明鱗スモールアイ



シルキー透明鱗スモールアイ



シルキー透明鱗スモールアイ



透明鱗利休



青透明鱗スモールアイ



黄金透明鱗スモールアイヒカリダルマ



透明鱗小錦



透明鱗スモールアイ



透明鱗スモールアイ



黄金透明鱗スモールアイ



黄金透明鱗スモールアイ半ダルマ



透明鱗スモールアイヒカリ



透明鱗スモールアイヒカリ



透明鱗スモールアイ



透明鱗スモールアイヒカリダルマ

#### 透明鱗スモールアイメダカの特徴

透明鱗とスモールアイの交配により、作出したメダカ達です。現在も、いろいろな種類の透明鱗スモールアイ作出を目指し、交配させています。また、このメダカ達の交配により、さらなる新種メダカが生まれる可能性があります。固定率が低いため、とても貴重なメダカです。

透明鱗スモールアイの価格は、体色、体型により異なります。  
ご希望の場合、メールもしくは直接電話にてお問い合わせください。

# ピュアホワイトメダカ



ピュアホワイト



ピュアホワイトダルマ



ピュアホワイトヒカリ(雪螢)



ピュアホワイトヒカリダルマ(白鵬)

## ピュアホワイトメダカの特徴

2003年に当館にて作出。体色がオスメスともに純白です。子供にも99%純白のメダカしか生まれてきません。

種類	体型(ニックネーム)	匹数	価格(円)
ピュアホワイトメダカ	普通種	1匹	500
		1ペア	800
		オス4匹+メス4匹+2匹	3,500
ヒカリ(雪螢)		1匹	1,500
		1ペア	2,500
		オス2匹+メス2匹+1匹	5,000
半ダルマ		1匹	1,500
		1ペア	2,500
		オス2匹+メス2匹+1匹	5,000
ダルマ		1匹	2,500
		1ペア	4,000
		オス2匹+メス2匹+1匹	10,000
ヒカリダルマ、 ヒカリ半ダルマ (白鵬)		1匹	4,000
		1ペア	7,000

# シルバーメダカ



シルバーヒカリ(銀河)



シルバーヒカリダルマ(煌)

## シルバーメダカの特徴

2005年に当店にて作出。シルバーメダカはオス、メス、同色にするために4~5年かけて作ってきました。そして2005年の冬、ようやくメスに体色(シルバー)が遺伝しました。シルバーは青パールの系統メダカより作出しています。青は、白と黒の色素脂のメダカです。シルバーは青メダカに黄色の色素脂が入り、頭と尾ビレが黄に変化したメダカです。シルバーの中にラメ(虹色細胞の一部)が強く入ったメダカがいます。ラメ入りシルバーを見ていると、夜空の満天の星を思い銀河とつけました。



シルバーメダカのオスとメス (上)オス (下)メス

種類	体 型 (ニックネーム)	匹 数	価 格 (円)
シルバーメダカ	ヒカリ (銀河)	1 匹	3,000
		1 ペア	5,000
		オス2匹+メス2匹	8,000
	ヒカリダルマ、 ヒカリ半ダルマ (煌)	1 匹	5,000
		1 ペア	8,000

# レインボーメダカ (普通種)



茶メダカ



青メダカ



黄メダカ



白メダカ

## レインボーメダカの特徴

普通体形のメダカです。当店の普通種は、新種交配の際生まれてきたメダカですので、色々な遺伝子を持っています。もしかすると変わったメダカが生まれてくるかも?各種組み合わせによっては、体色、体型別々に10種類以上のメダカが生まれてくる可能性もあり、レインボーメダカ(7色メダカ)として販売いたしております。飼育、繁殖共に容易ですので初心者の方にお勧めです。

種類	匹数	価格(円)
レインボーメダカ(普通種)	1匹	200
	初心者おすすめセット レインボーメダカセット 5色以上20匹	特価 3,000



# ダルマメダカ (縮みメダカ)



茶ダルマ



青ダルマ



黄ダルマ



白ダルマ

## ダルマメダカの特徴

体長が短く、お腹が出ていて丸々として、泳ぎ方も可愛らしいです。体長の縮み具合もさまざまで、短かく縮んでいるタイプをダルマ、それより少し長いタイプを半ダルマと呼んでいます。ダルマ体型は人気No1です

種類	匹数	価格(円)
ダルマメダカ(縮みメダカ)	1匹	1,500
	ダルマメダカセット 2色以上6匹 (オス2メス2+2)	特価 8,000

# ヒカリメダカ (ホタルメダカ)



茶ヒカリ



青ヒカリ



黄ヒカリ



白ヒカリ

## ヒカリメダカの特徴

背中に虹色細胞があるため、光りかげんにより背中に輝きがあります。また、尻ビレと背ビレが同じ形をしていて、尾びれが菱形のメダカです。普通体型のメダカに比べ背ビレや尾ビレが大きく見え、優雅なメダカです。

種 類	匹 数	価 格 (円)
ヒカリメダカ (ホタルメダカ)	1 匹	500
	初心者おすすめセット ヒカリメダカセット 4色以上10匹(オス4メス4+2)	特価 4,000

# ヒカリダルマメダカ (ホタルダルマメダカ)



茶ヒカリダルマ



青ヒカリダルマ



黄ヒカリダルマ



白ヒカリダルマ

## ヒカリダルマメダカの特徴

ダルマメダカとヒカリメダカの特徴を持ったメダカで、メダカとは思えないような優雅で綺麗なメダカです。ダルマメダカとヒカリメダカの交配により、F<sub>2</sub>(孫)でヒカリダルマが生まれてきます。

種類	匹数	価格(円)
ヒカリダルマメダカ (ホタルダルマメダカ)	1匹	2,000
	ヒカリダルマメダカセット 2色以上6匹(オス2メス2+2)	特価 10,000

# アルビノメダカ



アルビノ



アルビノダルマ



アルビノヒカリ



アルビノヒカリダルマ

## アルビノメダカの特徴

メラニン色素がないメダカです。目が赤いのは血液が透けてみえるためで、とても神秘的なメダカです。飼育もやや難しく、中級者向けです。特に稚魚から成魚になるまでの段階には注意が必要で、水温や水質の変化に気をつけてください。

種類	体 型 (ニックネーム)	匹 数	価 格 (円)
アルビノメダカ	普通種	1 匹	1,000
		1 ペア	2,000
		オス 3 匹+メス 3 匹+1 匹	5,000
	ヒカリ	1 匹	2,000
		1 ペア	3,500
		オス 2 匹+メス 2 匹	6,000
	ダルマ、半ダルマ	1 匹	5,000
		1 ペア	10,000
	ヒカリ半ダルマ、ヒカリダルマ	1 匹	10,000
		1 ペア	18,000

にしき

# 錦メダカ (ブチメダカ)



白斑



黄斑ヒカリ



白斑ヒカリダルマ



黄斑ヒカリダルマ

## 錦メダカの特徴

体のところどころに黒っぽい黒斑があり、黒っぽい容器で見るとその黒斑がはっきりし、錦メダカのような様子です。白い容器では保護色の影響で黒斑が薄くなります。黒・白、または黒・黄のまだら模様です。



種類	体 型 (ニックネーム)	匹 数	価 格 (円)
綿メダカ (ブチメダカ)	普通種	1 匹	300
		1 ペア	500
		オス 4 匹 + メス 4 匹 + 2 匹	2,000
	ヒカリ	1 匹	1,000
		1 ペア	2,000
		オス 2 匹 + メス 2 匹 + 2 匹	5,000
	ダルマ、半ダルマ	1 匹	2,500
		1 ペア	5,000
	ヒカリ半ダルマ、ヒカリダルマ	1 匹	4,000
		1 ペア	8,000

## 水蓮鉢の販売

水蓮鉢は陶器でできているため、水温の変化が緩やかで、真夏の暑い時期にも、他の容器に比べ水温が上昇しにくく、冬場の寒さが厳しい時期も昼と夜の水温の変化が少ないため、メダカの飼育に適した容器となります。又、見た目にもよく、水蓮鉢の中に水生植物を入れメダカが泳いでる様子は、私達に癒しの世界を与えてくれます。かわいいメダカ達を水蓮鉢に泳がせてみてはいかがでしょうか。



### ◎水れん鉢



商品名	サイズ	販売価格
EW001L 2/SET	○63×H48センチ	27,300円
	○50×H40センチ	

商品名	サイズ	販売価格
EW14 2/SET	大 ○60×H30センチ	22,050円
	中 ○50×H24センチ	
注意：大と中の2個のセットになります。		



商品名	サイズ	販売価格
EW001 3/SET	○50×H40	10,500円

### ◎中国鉢 小判水蓮鉢



品番	サイズ	販売価格
G-4588	40号 ○120×W95×H54	73,500円
G-4589	30号 ○100×W85×H46	47,250円
G-4590	23号 ○70×W57×H28	16,800円
G-4590B	18号 ○56×W45×H22	12,600円
G-4590BS	16号 ○47×W37×H20	9,450円

## ◎中国鉢 天水鉢

品番	サイズ	販売価格
G-8053	33号 ○100×H76	105,000円
G-4662	26号 ○77×H60	42,000円
	20号 ○60×H54	26,250円
	19号 ○57×H48	18,900円
	16号 ○48×H35	10,500円
	14号 ○42×H35	6,825円



## ◎白水鉢 ソリ型

サイズ	販売価格
大 ○63×H30	57,750円
中 ○53×H25	21,000円
小 ○43×H20	8,925円



## ◎白水鉢 サカズキ型



サイズ	販売価格
大 ○65×H16	52,500円
中 ○54×H14	21,000円
小 ○40×H11	8,925円

## ◎白水鉢 ボール型

サイズ	販売価格
大 ○48×H18	21,000円
中 ○38×H16	10,500円



※手作りのため、サイズ・色・多少の米カケ・多少の窯キズ、水のにじむ場合がありますがご了承ください。

- ① 他では見られない、館オリジナル水蓮鉢も多数販売しております。詳しくはホームページ内の水蓮鉢コーナーをご覧ください。
- ② 水蓮鉢のカタログ価格は全てメーカー希望小売価格となっています。価格の相談は直接めだかの館へお問い合わせください。
- ③ 大・中・小を問わず、メーカー直送にて配送いたします。
- ④ 大・中・小を問わず、1鉢よりご注文を承ります。

# めだかの館 価格表

種類	体 型 (ニックネーム)	匹 数	価 格 (円)	
ピュアブラックメダカ	普通種 (黒べえ)	1 匹	5,000~20,000	
		1 ペア	10,000~40,000	
	ヒカリ (小次郎)	1 匹	10,000~30,000	
		1 ペア	20,000~60,000	
	ダルマ (小錦)	1 匹	10,000~200,000	
		ヒカリダルマ (弁慶)	1 匹	30,000~200,000
体色により価格が変わります				
ピュアブラック黄金メダカ	普通種 (利休)	1 匹	5,000~20,000	
		1 ペア	10,000~40,000	
	ヒカリ (武蔵)	1 匹	20,000~50,000	
		1 ペア	30,000~100,000	
	ダルマ (武蔵丸)	1 匹	30,000~150,000	
		ヒカリダルマ (義経)	1 匹	100,000~200,000
体色により価格が変わります				
黄金メダカ	普通種 (安芸黄金)	1 匹	1,000	
		1 ペア	2,000	
		オス 3 匹+メス 3 匹+1 匹	5,000	
	ヒカリ (秀吉)	1 匹	2,000	
		1 ペア	4,000	
		オス 2 匹+メス 2 匹+1 匹	8,000	
	ダルマ、半ダルマ (金鱗丸)	1 匹	3,000	
		1 ペア	6,000	
	ヒカリ半ダルマ、 ヒカリダルマ (金皇丸)	1 匹	7,000	
		1 ペア	14,000	
	ピュアホワイトメダカ	普通種	1 匹	500
			1 ペア	800
オス 4 匹+メス 4 匹+2 匹			3,500	
ヒカリ (雪蛍)		1 匹	1,500	
		1 ペア	2,500	
		オス 2 匹+メス 2 匹+1 匹	5,000	
半ダルマ		1 匹	1,500	
		1 ペア	2,500	
		オス 2 匹+メス 2 匹+1 匹	5,000	
ダルマ		1 匹	2,500	
		1 ペア	4,000	
		オス 2 匹+メス 2 匹+1 匹	10,000	
ヒカリダルマ、 ヒカリ半ダルマ (白鱗)		1 匹	4,000	
		1 ペア	7,000	
		1 匹	1,000	
琥珀メダカ		普通種 (琥珀)	1 匹	1,000
			1 ペア	2,000
			オス 3 匹+メス 3 匹+2 匹	6,000
	ヒカリ (暁)	1 匹	3,000	
		1 ペア	5,000	
		オス 2 匹+メス 2 匹+1 匹	12,000	
	ダルマ、半ダルマ (琥珀丸)	1 匹	4,000	
		1 ペア	7,000	
	ヒカリ半ダルマ、 ヒカリダルマ (琴琥珀)	1 匹	7,000	
		1 ペア	14,000	
	スカイブルーメダカ	ヒカリ (静香)	1 匹	2,000
			1 ペア	3,500
オス 3 匹+メス 3 匹+1 匹			10,000	
ヒカリ半ダルマ、 ヒカリダルマ		1 匹	5,000	
		1 ペア	8,000	
		オス 3 匹+メス 3 匹	20,000	



種 類	体 型 (ニックネーム)	匹 数	価 格 (円)
楊貴妃メダカ	普通種 (楊貴妃)	1 匹	3,000
		1 ペア	5,000
		オス 2 匹+メス 2 匹+2 匹	10,000
	ヒカリ (東天光)	1 匹	5,000
		1 ペア	9,000
		オス 2 匹+メス 2 匹+1 匹	15,000
	半ダルマ	1 匹	6,000
		1 ペア	11,000
		オス 2 匹+メス 2 匹	18,000
	ダルマ (初恋)	1 匹	8,000
		1 ペア	15,000
		オス 2 匹+メス 2 匹	25,000
ヒカリダルマ、半ダルマ (朱天皇)	1 匹	10,000	
	1 ペア	20,000	
透明鱗メダカ	普通種	1 匹	700
		1 ペア	1,500
		オス 3 匹+メス 3 匹+1 匹	5,000
	ヒカリ	1 匹	2,000
		1 ペア	3,500
		オス 2 匹+メス 2 匹+2 匹	9,000
	ダルマ、半ダルマ	1 匹	3,000
		1 ペア	6,000
		オス 2 匹+メス 2 匹	10,000
	ヒカリ半ダルマ、 ヒカリダルマ	1 匹	4,000
		1 ペア	7,000
	琥珀透明鱗	1 匹	3,000
		1 ペア	6,000
	白透明鱗ヒカリ	オス 2 匹+メス 2 匹+1 匹	13,000
		1 匹	3,000
		1 ペア	6,000
	白透明鱗ヒカリダルマ、 ヒカリ半ダルマ	オス 2 匹+メス 2 匹+1 匹	13,000
		1 匹	4,000
		1 ペア	8,000
	アルビノ普通種	オス 2 匹+メス 2 匹+1 匹	18,000
		1 匹	3,000
		1 ペア	5,000
	アルビノヒカリ	オス 2 匹+メス 2 匹+1 匹	12,000
1 匹		6,000	
1 ペア		10,000	
綿メダカ (ブチメダカ)	普通種	オス 2 匹+メス 2 匹	18,000
		1 匹	300
		1 ペア	500
	ヒカリ	オス 4 匹+メス 4 匹+2 匹	2,000
		1 匹	1,000
		1 ペア	2,000
	ダルマ、半ダルマ	オス 2 匹+メス 2 匹+2 匹	5,000
		1 匹	2,500
		1 ペア	5,000
	ヒカリ半ダルマ、 ヒカリダルマ	1 匹	4,000
		1 ペア	8,000

# めだかの館 価格表

種類	体 型 (ニックネーム)	匹 数	価 格 (円)
アルビノメダカ	普通種	1 匹	1,000
		1 ペア	2,000
		オス 3 匹+メス 3 匹+1 匹	5,000
	ヒカリ	1 匹	2,000
		1 ペア	3,500
		オス 2 匹+メス 2 匹	6,000
	ダルマ、半ダルマ	1 匹	5,000
		1 ペア	10,000
	ヒカリ半ダルマ、 ヒカリダルマ	1 匹	10,000
		1 ペア	18,000
シルバーメダカ	ヒカリ (銀河)	1 匹	3,000
		1 ペア	5,000
		オス 2 匹+メス 2 匹	8,000
	ヒカリダルマ、 ヒカリ半ダルマ (煌)	1 匹	5,000
		1 ペア	8,000
サムライメダカ (セルフイン)	黄金ヒカリ	1 匹	5,000
		1 ペア	10,000
		1 匹	10,000
	黄金ヒカリダルマ (政宗)	1 ペア	20,000
		体色色々ヒカリ	1 匹
体色色々ヒカリダルマ	1 匹	10,000~	
パンダメダカ	パンダ (普通種)	1 匹	4,000
		オス 2 匹+メス 2 匹+1 匹	15,000
	パンダ A (普通種)	1 匹	2,500
		オス 2 匹+メス 2 匹+1 匹	12,000
	パンダ F1 (普通種)	1 匹	1,000
		オス 4 匹+メス 4 匹+2 匹	8,000
	パンダヒカリ	1 匹	6,000
		オス 2 匹+メス 2 匹+1 匹	25,000
	パンダヒカリ A	1 匹	4,000
		オス 2 匹+メス 2 匹+1 匹	17,000
	パンダヒカリ F1	1 匹	2,000
		オス 2 匹+メス 2 匹+1 匹	8,000
		1 匹	10,000
	パンダダルマ	1 ペア	20,000
		オス 2 匹+メス 2 匹+1 匹	40,000
		1 匹	7,000
	パンダダルマ A	1 ペア	14,000
		オス 2 匹+メス 2 匹+1 匹	30,000
		1 匹	2,000
	パンダダルマ F1	1 ペア	4,000
		オス 2 匹+メス 2 匹+1 匹	9,000
		1 匹	15,000
	パンダヒカリダルマ、 ヒカリ半ダルマ	1 ペア	30,000
		オス 2 匹+メス 2 匹+1 匹	60,000
		1 匹	10,000
	パンダヒカリダルマ A、 ヒカリ半ダルマ A	1 ペア	20,000
		オス 2 匹+メス 2 匹+1 匹	45,000
		1 匹	3,000
	パンダヒカリダルマ F1、 ヒカリ半ダルマ F1	1 ペア	6,000
		オス 2 匹+メス 2 匹+1 匹	13,000
		出目パンダダルマ	1 匹
	出目パンダダルマ A	1 匹	20,000
	出目パンダダルマ F1	1 匹	10,000
出目パンダヒカリダルマ、ヒカリ半ダルマ	1 匹	50,000	
出目パンダヒカリダルマ A、ヒカリ半ダルマ A	1 匹	30,000	
出目パンダヒカリダルマ F1、ヒカリ半ダルマ F1	1 匹	15,000	

- 当館作出のメダカのみニックネームをつけております。
- 価格は、体色、体形によって差があります。

## セット販売

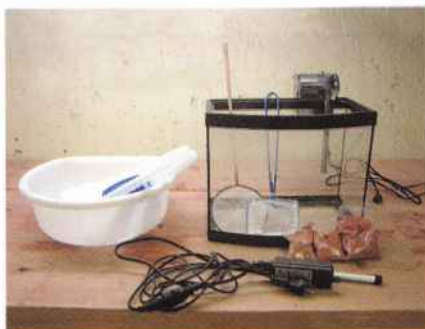
種 類	内 容	価 格 (円)
レインボーメダカ	5色以上 20匹	4,000 → 3,000
ヒカリメダカ	4色以上 10匹	5,000 → 4,000
半ダルマメダカ	4色 8匹	6,400 → 5,000
ダルマメダカ	2色以上 6匹	9,000 → 8,000
ヒカリダルマ	2色以上 6匹	12,000 → 10,000
<b>組み合わせセット</b>		
レインボー 10匹+ヒカリ10匹	4色以上 20匹	7,000 → 5,000
ヒカリ 5匹+半ダルマ 5匹	4色以上 10匹	6,500 → 5,000
ヒカリ 5匹+ダルマ 5匹	4色以上 10匹	10,000 → 8,000
半ダルマ 5匹+ダルマ 3匹	3色以上 8匹	8,500 → 7,000
ダルマ 3匹+ヒカリダルマ 3匹	2色以上 6匹	10,500 → 9,000
<b>ピュアブラック系セット</b>		
ピュアブラックを作るセット	オス 4匹+メス 4匹+2匹 計10匹	5,000
Zメダカ (ピュアブラックの全種類が生まれる 可能性のあるメダカ)	オス 4匹+メス 4匹+2匹 計10匹	10,000

# めだかの飼育

## 1. メダカを飼育前に

メダカを飼育するにはあらかじめ、そのための準備をしなければなりません。飼育用品にこだわる必要はありませんが、メダカにとって快適な環境を作る為にはある程度の物が必要となってきます。

準備しておきたいものとしては、メダカを飼う容器(水槽)、底床、水草、餌、網(タモ)、水換え用のホース、バケツ、水温計、カルキ抜き(水道水の



場合)、粗塩(病気の時に使用)、室内飼育の場合には、蛍光灯、ろ過の為のフィルターなどです。その他にもあればよい物もありますが、必要に応じて、徐々にそろえていくといいでしょう。

### ◎メダカの入れ物

メダカの飼育でよく使用する入れ物は、すいれん鉢、ガラス水槽、プラスチック容器、発泡スチロールなどの容器です。すいれん鉢や発泡スチロールは外気の影響を受けにくく、水温の変化も緩やかになりますので屋外飼育に適した容器だと言えます。メダカを横から観賞したい場合にはガラス水槽が適しています。また、容器はなるべく大きなものが理想です。水が多量に入る分、水質も悪化しにくくなり、水温の急激な変化も少なくなるからです。とはいえ、大きな容器だと、それに合ったメダカの数も入れないと寂しいでしょうし、メダカをすくうときになかなかすくえない、掃除の時などの手間、また場所をとる等の多少のデメリットもあります。これからメダカの飼育を始められる方は、30cm位の容器で10匹位から飼育を始めるといいと思います。容器に対しての固体密度も大事です。固体密度が高くなると、酸素不足になったり、メダカの成長、産卵に悪影響を及ぼします。メダカの入れすぎには注意してください。

### ◎底床

容器の底にはなるべく底砂を敷いてください。底砂は水槽を綺麗に演出するためだけではなく、バクテリアなどの微生物の棲みかとして重要です。底砂に繁殖したバクテリアや微生物

によって、底に溜まったメダカの排泄物や餌の食べ残しなどの有機物を分解してくれ、そのことにより水が浄化されます。メダカの飼育でよく使われるものとして「大磯砂」、「園芸用品の赤玉土」があります。その他にも色々な種類の底床が販売されていますので、底床が水質に与える影響を考慮したうえで、好みに合った物を選ぶとよいでしょう。



### ◎水草

水草にも水を浄化する作用がありますので、なるべく水草を入れてください。また、水草は水中に酸素を補給する役割もします。そして水草によってはメダカのよい産卵場所、隠れ場所になったりもします。メダカの飼育でよく見られるものとして、睡蓮やホテイアオイ(ホテイソウ)があります。ホテイアオイの根は紫黒く、密集してはえています。この根から水中の余分な栄養分などを吸収し、水を浄化してくれます。また、この根がメダカの産卵場所として最適です。ただし根が伸び過ぎると、メダカが根に絡まったりしますので、ある程度根が伸びてきたらカットしたり、葉が一面に茂ってきたら株を間引いたりしてください。その他、育成が容易なものとしてオオカナダモ(アナカリス)があげられます。オオカナダモは池や川でよく見られる水草ですので採取して利用するのもよいでしょう。ただし、自然に生えているものには、雑菌や害虫の卵などが付着していることも考え



# めだかの飼育



られますので、よく洗ったほうがいいでしょう。また、購入した水草も上記のような場合もあるかもしれませんし、貝(スネールの混入)の心配もありますので、洗ってから使用してください。念のため別容器にてカルキを抜いた水の中に浮かべ、様子を見るとよいでしょう。

## 2. 飼育水

メダカの飼育で大切なものの1つが水です。「めだかの館」では、地下水をくみ上げて使用していますが、一般家庭では水道水を使う場合がほとんどだと思います。そこで注意したいのが、カルキ(残留塩素)の問題です。水道水には殺菌の為に塩素が使用されています。この水道水の中に含まれる塩素がメダカにとって害のあるものとなります。水道水の塩素を抜くには、一昼夜、水を汲み置きしておきます。そうすると自然に水中の中から塩素が抜けます。また、汲み置き水を常に溜めておけば、水温も気温と同じくらいになり、水換えに使用する際にも好都合です。どうしてもすぐに水道水を使わざるをえない場合には、市販のカルキ抜きを使用してください。また、飼育に使う水道水、または地下水にしても、地域によっては、PHや硬度に問題がある場合があるようです。あらかじめ市販のPHなど測定する検査薬で調べておくと安心です。PHとは水中の水素イオン濃度の度合いを示すもので、PH7が中性、それより数値が下がると酸性、上がるとアルカリ性となります。メダカの飼育には弱酸性～弱アルカリ性の範囲内での飼育が理想です。PHは飼育環境によってもかわってきます。飼育水は飼育を続けるにつれ酸性に傾いてきます。あまりにもPHが低下することは飼育魚にとっては害になります。また、メダカをいきなりPHや水温などに差がある違う水に移したりすると、PHの急変でPHショックをおこしたり水温の急変で体調を壊したりする可能性もあります。そのため、メダカを購入された場合や、違う水槽に移動させたりする場合には、水あわせを行ってください。小さめの容器にもともといた水と一緒にメダカを入れ、それを新しく入れようとする水槽にしばらく浮かべておき、水温を同じにします。そして、新しい環境の水を少しずつ入れて、ゆっくりと新しい環境に慣れさせます。これを行うことにより、水質や水温の急激な変化を防ぎます。

### 3. 飼育場所、水温

メダカを飼育する上で日光もとても重要になります。日光に当たることにより、丈夫なメダカに育ち、健康な状態を保てます。ですのでなるべく日光が当たる場所に容器を置きます。その点から言うとメダカを飼育するのは屋外飼育が理想です。室内飼育もガラス水槽でいつでも好きな時にメダカを横から観賞できるのも魅力です。しかし、室内飼育ではどうしても光りが不足します。光りの不足は、ビタミンA、Dの欠乏をもたらし、メダカが病気になるやすくなります。ですので、室内飼育の場合は光りを補給するという意味でも、蛍光灯を使用してください。屋外飼育の場合、夏場の暑い時期など水温が上昇しすぎる場合があります。そのような時は「よしず」や「すだれ」などを利用し、日陰を作るようにします。メダカが育成できる水温の目安は0～38℃ですが、高温での飼育はなるべく避けなければなりません。メダカが最も活発に活動する水温(成長に適している水温)は25～28℃です。また、冬場あまりにも寒さの厳しい地域ではメダカを室内に取り込み加温した方が安全かもしれません。



真夏の暑い日は日陰を作って水温の上昇を防ぎます。

### 4. 餌

メダカに限らず、生き物を飼う楽しみの一つに餌やりがあります。生物にとってはとても重要なことです。人に馴れているメダカは、近づくと勢いよく人間の方に近寄ってきます。これは飼育者がきちんと餌を与えている証拠で、とても大事なことだと思います。メダカは雑食性なので、プランクトン、ミジンコ、ボウフラ、植物、小さな昆虫などいろいろな物を食べます。屋外飼育の場合、自然とそれらの者が飼育水の中に繁殖する場合がありますので好都合です。ただ、それだけでは足りませんので飼育者の手できちんと与えなければなりません。価格もお手頃で気軽に与えることができるものは、メダカ用の人工餌です。与える餌の量は、メダカの活性やメダカの数によって加減します。



## めだかの飼育

1回に与える量の目安としては、5分位で食べきれぬくらいの量です。食べ残しが出るとそれだけ早く水も悪化しますので、その辺を普通の餌やりで観察しながら調整してください。与える回数ですが、夏はメダカもよく活動しますので最低でも1日2回、春や秋は1日1回は与えてください。冬は水温も下がりメダカの活動も鈍くなり冬眠に近い状態になる為、餌を与える必要はありません。人工の餌以外にも、ミジンコ、糸ミミズ、赤虫、ブラインシュリンプなどの生餌もよく食べます。これらの生餌は人工餌に比べ、手が掛かり価格も多少高くなりますが、栄養価が高く、メダカの成育にとってもよい餌です。

### 5. 水換え

メダカは変温動物ですから水温によって活動が違ってきます。冬場の水温が低い時には、メダカはほとんど活動しません。餌を与えないため、排泄物も少なく、水質悪化の心配はないでしょう。よって、メダカが水底でじっとしているような冬場の時期の水換えの必要はありません。問題はメダカが活動を始める春から秋の間です。特に夏場は、水温も高く、メダカも活発に活動します。その分、餌もよく食べ、排泄物も多くなります。この排泄物や餌の食べ残しが、水中でアンモニアというメダカにとって非常に有害な物質を発生させます。そこで活躍してくれるのが、水中に存在するバクテリアなどの微生物です。バクテリアは底床や濾過機(フィルター)の中のろ材やスポンジなどを棲みかとします。そして、バクテリアの働きによりアンモニアを分解してくれます。しかし、バクテリアの繁殖にはある程度時間がかかりますので、水槽をセットしたての初期段階は注意が必要です。見た目は澄んだ透明な水であっても実際にはアンモニアが蓄積されているということもあります。食べ残しが出ないように餌を与え、こまめに水換えをおこないます。水換えの度合



水換え用のポンプがあれば便利です。



台所の排水口に使うネットを、ポンプの吸い込み口に付けておくとメダカも吸い込まれる心配がありません。



いについては、環境や魚の数などによってさまざまですので、はっきりとしたことは言えませんが、最低でも週に1回、3分の1~4分の1は水換えしてください。バクテリアの働きを少し詳しく言うと、有害なアンモニアを亜硝酸という物質に換え、最終的には硝酸塩という物質に換えられます。硝酸塩は比較的害の少ないものですが蓄積されていくことによりメダカの害になります。水草が入っている場合は、栄養分として一部は吸収されますが、水換えによる排出も必要となります。このようなバクテリアなどの微生物や、水草の働きにより水が浄化され、飼育水が安定してくれば水換えの回数も減らしていくことができます。アンモニアや硝酸塩などの濃度を調べる水質試薬もありますので、始めのうちは水の変化、状態を知るという意味でも使用してみるのもいいでしょう。また、水質悪化により、メダカに元気がなかったり、餌をあまり食べなくなったりする場合がありますので、常にメダカを観察することも大事です。

## 6. 繁殖(産卵、孵化)

### ◎メダカのおスとメスの違い

メダカ飼育での大きな楽しみの1つが、メダカの繁殖です。メダカは条件さえ整えば簡単に卵を産み、殖やすことができます。メダカの繁殖を楽しむために、まず、おスとメスの違いを覚えて、見分けができるようにならなければなりません。メダカはチョコチョコと動き回るので、なかなか見分けるのは難しいかもしれませんが、以下の写真をご覧ください。その違いが良く分かるかと思いますが、まず、おス、メスを見分けるには尻ビレを見ます。おスは、このヒレがメスより大きく、平行四辺形のような形をしています。それに比べメス

#### 普通種

##### おス



##### メス



# めだかの飼育

## ヒカリメダカ(ホタルメダカ)

オス



メス



は、尻ビレが小さく台形のような形をしています。またオスには背ビレに切れ目が入っています。ダルメダカの場合、慣れるまで若干判別は難しいかもしれませんが、同じように尻ビレで見分けます。ヒカリメダカやヒカリダルマは尻ビレと背ビレが同じ形ですので、見分けやすいかと思います。尻ビレを見て分かりづらかったら背の方も見るといいでしょう。

## ◎産卵、孵化

オス1匹、メス1匹の1対1交配でも、相性がよければ交配しますが、効率よく繁殖させるには最低、オス、メスあわせて10匹はいた方がいいでしょう。オスとメスが同じ匹数よりも若干メスが多い方が理想です。屋外飼育での場合、メダカは春から夏(4~9月頃)にかけて産卵します。それは、水温と日照時間が大きく関わっています。メダカは水温20℃以上、日照時間が12~13時間の環境下にて産卵をはじめます。地域によって差はありますが4月から9月という時期は、ちょうどその条件がそろった時期になります。ですので、秋や冬の寒い時期でも、熱帯魚飼育に使うヒーターと蛍光灯を使い、夏のような環境を作ってやれば産卵します。その場合、水温は25~28℃に設定し、照明は14時間は点灯してください。また、栄養も産卵の為に重要です。餌をきちんと与えていないと産卵しなかったり、産卵数が減ったりしますので、日頃の餌やりを大事にしてください。メダカは産んだ卵を水草などに付着させます。しかし、そのままにしておくと、卵から孵化した稚魚を親メダカが食べてしまいます。ですので、産み付けられた卵は水草ごと別の容器に移して孵化させて下さい。また、水草の代用品として、シュロの皮もお勧めです。シュロの皮を加工して、針金で巻いた物です。その針金をメダカの容器にひっかけて、シュロの皮を、水中に入れておくとそこに産卵します。メダカがシュロに産卵したことを確認できれば、別の容器にシュロごと移し換えます。シュロ

の皮は、卵も確認しやすくとても便利です。産卵用のシュロは、「メダカの館」でも販売していますので、是非ご利用ください。卵の孵化日数は、水温によって変わってきます。卵を25℃の水温で管理している場合、約7～10日で孵化します。しかし、卵も水温が低いと孵化までに時間がかかり、卵にカビが生えてしまったり、成長できずに死んでしまったりします。冬場、繁殖させる場合には、卵の容器にもヒーターを入れてください。受精しているメダカの卵は透明で指でつまんだ位では潰れることはありません。しかし、無精卵や、途中で死んでしまった卵などは、すぐ潰れてしまいます。無精卵の場合白く濁った色をしています。このような卵は放置しておく、カビが生え、他の正常な卵にまでカビが移る原因となりますので、白く濁った卵



ホテイソウの根に産み付けられた卵



孵化してまもない稚魚

や、カビの生えてしまった卵は取り除いてください。稚魚は孵化して3～5日目位から餌を食べはじめます。餌は稚魚用の人工餌を与えます。できるだけ粒の細かいパウダー状の物がお勧めです。粒の大きいものは、すり鉢などですり潰して、与えてください。

## 7. 病気

メダカがかかりやすい病気は「白点病」、「水カビ病」、「尾ぐされ病」などです。「白点病」は体に白い点々のようなものが付きます。「水カビ病」は頭部や口先、ヒレなどに白い綿のようなカビが付きます。「尾ぐされ病」はヒレがささくれたり、溶けてきたりします。いずれの場合も、初期段階であれば治療が可能です。症状が進み、重症の場合の治療は難しくなります。治療法は市販の魚病薬を使用するか、粗塩を使用します。薬の場合は使用方法に従い使用してください。粗塩は0.3～0.5%の塩分濃度になるように塩水を作り、そこに病気のメダカを入れて塩水浴させます。共に病気の原因となる菌は高温になると活動が鈍る為、水温は28℃位まで上げてください。

# メダカの飼育 Q&A

**Q** メダカの飼育を始めようと思うのですが、室内での飼育と屋外での飼育はどちらがいいのでしょうか？

**A** 屋外飼育がおすすめです。メダカにとって日光はとても大切で、屋外での飼育の場合、メダカが病気になりにくく成長もよいと感じます。しかし、室内飼育の方がつねにメダカを観察・観賞できますので、観賞目的の場合は室内での飼育がよいでしょう。

**Q** 屋外でメダカを飼育したいのですが、気をつける事はありますか？

**A** 気をつけるとすれば、真夏の水温の上昇に気をつける、雨によりメダカが流されないようにする、春や秋には病気になりやすいので、常にメダカをよく観察する、などです。また、ヤゴは稚魚を食べるので、トンボが飛び始める時期にはヤゴには気をつけてください。

**Q** 60cmの水槽を持っているので、それでメダカを飼育しようと思うのですが、この場合、何匹くらい飼育が可能ですか？

**A** 60cmの水槽であれば50~60匹までは大丈夫でしょう。ただ、飼育密度が高くなれば、酸欠を起こしたり、水質悪化を早めたり、メダカの産卵に悪影響を及ぼしますので、なるべく入れすぎには注意してください。目安としては1ℓの水の量に対してメダカ1匹です。

**Q** 水槽の底には砂利などひいた方がいいのですか？

**A** できるだけ底砂は入れたほうが良いです。砂の中に繁殖する微生物によって水が浄化され、水質悪化を遅らせることができます。初心者の方に使いやすいのは大磯という砂が使いやすいとお勧めです。また、園芸用の赤玉土もすぐれた底砂です。赤玉土は硬質が焼き赤玉土が崩れにくいのでお勧めです。当店では、当店オリジナルサンドと底面フィルターを使い、長期水質維持ができる環境を作っています。

**Q** 1つの水槽に色々な種類のメダカを飼育したいのですが大丈夫ですか？

**A** 大丈夫です。ただ、卵を採るのであれば、ごちゃ混ぜの繁殖になりますので、交配を重ねていくうちに優勢となるメダカが多くなる可能性もあります。また、スモールアイ、アルビノ、ダルマなどは、他のメダカに比べ、餌を食べるのが素早くないので、気をつけてあげてください。

**Q** 数日間、家を空けることになったのですが、その間、餌を与えることができません。大丈夫でしょうか？

**A** 1週間くらいであれば大丈夫でしょう。特に屋外での飼育の場合は、なんだかのメダカの餌となる物(小さな虫や、ボウフラなど)が水槽内に混入している場合があるので好都合です。

**Q** メダカが底の方にじっとしていて元気がありません。餌もあまり食べないのですが、どうしてでしょう？

**A** 冬場の場合は水温が低いのでメダカは底の方でじっとしていて、餌にもあまり反応しません。この場合は心配いりませんが、それ以外の場合は水質の悪化が原因だと考えられます。水換えをおこなって環境を整えてください。また、病気がかかっている場合もこのような状態になります。メダカの体に異変はないか、よく観察してみてください。

**Q** メダカの冬越しはどのようにすればよいですか？

**A** できれば大きめの水れん鉢や発泡スチロールなど、水温の変化が少ない物を使用し、底砂をたっぷり入れて、メダカの隠れ家も作ってあげてください。枯れ葉や流木、石、瓦、鉢、など入れておくと、その陰や中に隠れて、寒さに耐えています。

いずれも水中に入れるものなどで、有害なものが溶け出さないものを使用してください。枯れ葉も種類によっては水に溶けて腐敗する場合がありますので注意してください。餌は10～11月位から徐々に量を減らし、12月位になるとメダカの動きも鈍り、底の方でじっとするようになってきますので餌やりを止めます。3月位から、隠れ家から出てきて水面を泳ぐようになってくれば、様子を見ながら徐々に餌やりをはじめてください。

**Q** メダカが卵を産みません。どうしてでしょう？

**A** メダカはオスとメスがちゃんとして、餌もきちんと与え、水温20℃以上、日照時間13～14時間を条件に産卵します。産卵しないのであれば、それらの条件が整っていないか、オスとメスの相性が悪いとも考えられます。

**Q** メダカの卵が孵化しません。どうしてでしょうか？

**A** 卵が受精できなかった無精卵の場合は、卵が白く濁っていて、指でつまむとすぐつぶれてしまいます。このような卵は孵化しません。また、有精卵でも孵化までの間に、白いカビが覆われてしまう場合があります。このような場合も孵化率が低下します。白く濁った卵やカビが生えた卵は取り除いてください。（カビが生えた卵をそのままにしておくと、他の卵にまでカビをうつしてしまいます。）また、水温が低い場合も、孵化までに日数がかかります。卵を管理する水の温度も20℃以上がよいでしょう。

**Q** メダカの稚魚が孵化しても、いつのまにか死んでしまっていなくなります。稚魚の育て方を教えてください。

**A** 成魚も稚魚も飼育法はだいたい同じなのですが、少しデリケートな部分もあります。稚魚の時の水換えは環境の変化についていけず死んでしまうことがありますので、なるべく避けてください。とはいえ水換えをしなければ水質の悪化で死んでしまいます。なのでなるべく水換えをしなくてもよい環境作りが必要になってきます。例えば、大きめの容器で飼育す

る、バクテリアによる生物ろ過の働きを利用するなどです。餌は、なるべく細かくつぶした物を1日2〜3回、少量与えます。稚魚の口はほんとうに小さいので、餌の粒が大きければ食べてくれません。稚魚の成長とともに、同じ時期に孵化した稚魚でも、成長の早いものと、遅いものに分かれます。一緒にしておくで、成長の早い固体が餌をよこどったり、小さい稚魚を追い回したりしますので、大きくなった順から他の容器に移すとよいでしょう。

**Q** メダカの稚魚が沢山生まれましたが、成長に差があり、小さいままの稚魚が心配です。

**A** 稚魚の成長の差は、どうしてもおこることで、成長の早い個体であれば、2ヶ月程で成魚となり産卵を始める場合もあります。あまりに大きさに差があると大きいメダカが小さいメダカを追い回したり、つついたりしますので、できれば成長の早いメダカと、遅いメダカを分けて飼育してみてください。

**Q** メダカの稚魚がだいぶ成長してきましたが、どの位の大きさになったら親と一緒に飼えますか？

**A** できれば成魚になるまで一緒にしないほうが理想ですが、目安としては1センチ以上であれば大丈夫でしょう。ただ、一緒にするのであれば、親が餌を独占してしまわないように、まず少量餌を与え、親がそれを食べている間に、子供に少量与えて、分散させる感じで餌やりをするといいでしょ。

**Q** ダルマメダカを繁殖させたいのですが、なにかコツはありますか？

**A** ダルマ同士の交配だと、なかなか交尾しなかったり無精卵に悩まされる場合があるため、初心者の方は、親には半ダルマを使うといいでしょ。体長が短いダルマに比べると容易で、ダルマも生まれてきます。メスがダルマでオスが半ダルマという組み合わせもいいかと思えます。またダルマ繁殖には水温が非常に大事で、熱帯魚用のヒーターで水温を28〜32℃に設定し、産卵させ、卵も同じ水温で管理し、孵化させます。

真夏は、自然とその水温が得られますので、ダルマ繁殖にはもってこいです。

**Q** スモールアイにチャレンジしたいのですが、スモールアイを購入してスモールアイ同士で交配させるのと、セット販売などにあるスモールアイのF1やF2などの子供を購入し交配させるのではどちらがお勧めですか？

**A** スモールアイの子供で販売しているメダカからももちろんスモールアイは生まれてきます。出現率もスモールアイ同士の交配と、さほど変わりはありません。スモールアイになった個体よりも繁殖が容易なので、スモールアイにチャレンジされたいのであれば、まずはスモールアイの子供から始められるといいでしょ。

## 四季の管理

1月

冬場、屋外飼育のメダカは活動がにぶるため、餌やりや水かえなどの世話をする必要はありません。めだかの館では冬場も繁殖をさせているため、繁殖ハウス内は20℃～30℃夏場の気温です。

2月

めだかの館では秋からハウス内で、繁殖したメダカの選別や、ハウス内の水槽の整理と、春のシーズンに向けての準備にとりかかります。成長の早いメダカであれば、10月～4月でF1～F3まで作ることが可能です。

3月

3月に入るとわりと暖かい日もできます。しかし、暖くなったり寒くなったりと気温の変化が激しい時期です。

室内のメダカを屋外に出すのは、安全を考えて避けたほうがいいでしょう。屋外のメダカには、3月下旬位から徐々に餌を与えます。

4月

いよいよメダカシーズンの到来です。準備は出来ていますか？

めだかの館では、この時期にビニールハウスから、屋外へとメダカを移動させます。

5月

メダカが産卵をはじめの時期です。

水温が17℃前後の時期は、メダカが病気になるやすいので注意が必要です。メダカの様子がおかしくないか、よく観察してください。

6月

梅雨の時期です。雨がよく降りますので屋外飼育の場合、水が溢れてメダカが流されてしまわないように、対策をしておきます。水温が低くなり病気に注意。

7月

夏場はメダカも活発に活動しますので、餌は1日2～3回与えます。又、水の悪化も早くなりますので注意が必要です。定期的な水換えをおこなってください。

8月

夏場は水温もだいぶ上がり、ダルマメダカ作りには適した時期ですが、場所やメダカを入れる容器によっては、かなりの高温になり危険です。あまりにも水温が上昇する場合は、置き場所を変えたり、日よけなどをしたりして対処します。

9月

気温も落ち着き過ぎやすい時期になりました。メダカはまだ産卵しますが、冬までに大きくなれないメダカは、冬場に死んでしまいますので、室内飼育に切り替えることができない場合は卵を採らない方がいいかもしれません。

この時期も病気に注意してください。

10月

屋外のメダカには餌の量を減らし、1日1回程度与えます。そろそろ冬支度の時期です。冬場も繁殖させたい、室内で鑑賞したいという方は、10月～4月くらいまで、水槽にヒーターを入れ、20℃以上に設定し、飼育してください。めだかの館では、冬場も産卵させるメダカをハウス内に移動させます。

新種メダカ作りの親メダカを選別し、1対1の交配に入ります。

11月

屋外のメダカにはそろそろ餌を止めます。

めだかの館では、屋外の水槽には底砂を多めに入れ、メダカの布団として枯葉を入れてやります。それと同時にハウス内では、シーズンオフを利用して、じっくりと新種メダカ作出に取り組んでいます。

12月

めだかの館では、屋外のメダカにはえさも与えず、水かえもおこなっておりません。活動が鈍り、冬眠に近い状態なので、そっとしておきます。

# 第1回 日本めだか品評会

昨年の平成19年9月15日から24日の9日間、めだかの館にて、第一回日本メダカ品評会を開催いたしました。

メダカ愛好家の方々から、「是非、品評会を開催して欲しい。」「メダカ文化の発展には品評会が必要」という要望やご意見があり、又、私自身も数年前から同じ事を考えておりました。いつかは全国メダカ品評会を実現させたいという強い想いがありました。

開催されるまでの半年間、愛好家の方々とは幾度か品評会について話し合い、準備を進めてまいりました。

そして、ついに全国で初となるメダカ品評会を開催することができました。

メダカは全部門で約100匹におよび、とてもすばらしいメダカ達が出品されました。みなさんのメダカ繁殖に対する熱い想い、飼育レベルの高さを感じました。

そして私自身、1番驚き、興味を引かれたメダカは愛媛県の菅高志様出品の、背中が今まで見たことのない青っぽい光りで輝く、超珍種メダカです。

このメダカは今年、メダカ界注目目的となること間違いありません。

そして品評会開催中には、約800人の方々にご来場していただき、約500人の方に投票して頂きました。ご来場者の中には県外からお越し頂いた方も多く、遠くは福島県からご来場された方もいらっしゃいました。遠方からどうもありがとうございました。また、NHK、民報4社、新聞社2社からの取材も受け、とても盛り上がった品評会になりました。インターネット投票におきましても、約300人の方からの投票をいただきました。本当に沢山の方のご来場、ご投票ありがとうございました。

第1回ということで、いたらなかった部分もあるかと思いますが、今回の品評会で私自身色々勉強になりました。

今年は品評会を春季と秋季の年2回行うこととなり、昨年の暮れから春季に向け準備に取り掛かっております。ご来場していただいた方の中にも「私も出品しておけば良かった」と言うお言葉をいただきました。また、今回出品された方々も、来年に品評会に向けてメダカ繁殖の意欲を見せておられました。今年の品評会は更なる出品数、色々なメダカの出品が予想され、今からとても楽しみです。

最後になりましたが、出品者の方々、品評会の準備、開催中のお手伝いをしてくださった方々に、心より感謝いたします。ありがとうございました。

めだかの館 大場幸雄





## 品評会受賞メダカ

### 最優秀賞

スモールアイ部門の1席に輝いた広島県 山沖 光夫 様 出品のピュアブラックホタルダルマに決定いたしました。

体色のよいすばらしいピュアブラックホタルダルマです。



#### 【山沖様からのコメント】

この度、第1回めだか品評会において、「最優秀賞」という、すばらしい賞を頂きありがとうございます。これも応援、投票してくださった皆様のおかげと感謝しております。

私はまだメダカ飼育初心者で、初めて改良メダカを飼育したのが今年の4月です。めだかの館に行き、改良メダカを色々と見せてもらっている内に、武蔵や小次郎など、カッコいい系のメダカにはまってしまいました。

今までの経緯について少しお話をさせていただきます。

最初に2メダカ3匹（オス1匹、メス2匹）を購入しました。そこから約50匹子供を採りました。そこから、なんと十数匹のスモールアイが生まれ、さらに、小次郎、小錦、弁慶とピュアブラックの全種類が生まれていました。その時に生まれた小錦と弁慶を品評会に出品させていただきました。

その他には、利休の子供から、約30匹子供を採り、十数匹のスモールアイが生まれ、武蔵丸も生まれてきました。

武蔵の子供からは、約50匹の子供を採り、数匹スモールアイが生まれ、その内義経が1匹産まれました。

琥珀においては、約500匹以上子供を採り、スモールアイダルマが1匹産まれました。

東天光からは、約100匹以上子供を採り、2~3匹のスモールアイが産まれました。

まだ、飼いはじめて数ヶ月ですが、今ではメダカ飼育にとっぷりはまっています。

めだかの館関係者の方々、ならびにメダカ愛好家の方々、これからも宜しくお願いします。

### めだかの館賞

今まで見たことのない、変わった光りを背中にもっている。

愛媛県 菅 高志 様 出品の背中光強ダルマに決定いたしました。



#### 【菅様からのコメント】

この度、品評会でめだかの館の村長さんが決定する、めだかの館賞をいただき、とても嬉しく思います。メダカの飼育をやっていて、本当によかったと感じています。ありがとうございました。

この賞に恥じないようにメダカ文化の発展に努め、また、春の品評会に向けて燃え捲ります。

皆さん、今後ともよろしくお祈りします。

～ 1席 楊貴妃 ～



徳島県 木下一好様

～ 2席 アルビノ ～



愛知県 井川 重信様

～ 3席 楊貴妃 ～



兵庫県 中川 忠弘様

～ 1席 暁(琥珀ホタル) ～



熊本県 小宮 正城様

～ 2席 クリアブラウン系ホタル ～



広島県 山沖 光夫様

～ 3席 銀河(シルバーホタル) ～



愛媛県 北条 忠義様

タルマメタカ部門

～ 1席 ピュアホワイトダルマ～



広島県 関本 裕治 様

～ 2席 琥珀丸(琥珀ダルマ)～



広島県 山根 正信 様

～ 3席 初恋(楊貴妃ダルマ)～



広島県 野崎 卓児 様

ホタルタルマメタカ部門

～ 1席 朱天皇(楊貴妃ホタルダルマ)～



広島県 久保河内 巴 様

～ 2席 パンダホタルダルマ～



愛媛県 近藤 利継 様

～ 3席 煌(シルバーホタルダルマ)～



愛媛県 北条 忠義 様

スモールアイメダカ部門

～ 1席 弁慶(ピュアブラックホタルダルマ)～



広島県 山沖 光夫 様

～ 2席 利休(ピュアブラック黄金)～



広島県 仁井谷 務 様

～ 3席 小錦(ピュアブラックダルマ)～



愛媛県 菅 高志 様

透明鱗メダカ部門

～ 1席 透明鱗スモールアイ～



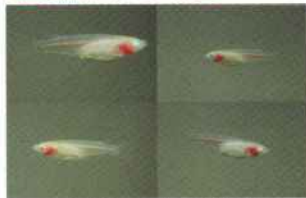
広島県 田中 正美 様

～ 2席 透明鱗ホタルダルマ～



広島県 田中 正美 様

～ 3席 透明鱗アルビノ片目スモールアイ～



徳島県 三好 康博 様

～ 1席 ラメ強青ホタルメダカ ～



熊本県 小宮 正城 様

～ 2席 目前透明鱗ダルマ ～



徳島県 木下一好 様

～ 3席 政宗(黄金サムライホタルダルマ) ～



愛媛県 菅 高志 様



▲表彰式の様子



1席を受賞したメダカ達▶



# 第1回 春季日本めだか品評会開催要項

## ◎開催期間 平成20年5月2日～6日

見学時間は午前10時～午後4時

## ◎会場 めだかの館

広島県廿日市市宮内3500-2

## ◎主催 めだかの館

## ◎出品部門

1. 普通種めだか部門
2. ヒカリめだか部門
3. ダルマめだか部門(半ダルマを含む)
4. ヒカリダルマめだか部門(半ダルマを含む)
5. スモールアイめだか部門
6. 透明鱗めだか部門(透明鱗全種類この部門といたします)
7. パラエティーめだか部門

パラエティー部門についてはセルフイン及び珍種の部門とします。

珍種の定義につきましては今までにない体型や色彩を持つ個体とします。

8. ペア部門(雄雌2匹の出品)
9. 1水槽部門(お題を決め10匹以内で出品)

## ◎参加費用

出品料・1部門1匹・1ペア・1水槽1,000円

## ◎輸送参加

開催期間中、会場へ出品する固体を持ち込めない場合元払い宅配便(着払いを受付しません)にて参加費用と出品票・返送用ヤマト着払伝票(返送先住所記入済の物)を同封の上お送りください。なお死着の保障はいたしません。4月25日～4月29日の到着で受け付けます。

## ◎出品めだかの返却

5月6日品評会終了時に引き取りをお願いいたします。なお輸送参加で宅配便にて返却を希望される場合は、着払いにて返却をいたします。その際の着日・着時間の希望を伺います。輸送返却の際の死着につきましても主催者の保証はいたしません。

## ◎賞

各部門1席・2席・3席を決定する、各部門1席の中から最優秀賞を決定する他、主催者めだかの館賞(大場幸雄が選出)を決定する。各部門の1席～3席選出・最優秀賞・めだかの館賞受賞者へは賞状を授与する。

## ◎審査方法

主催者投票・来場者投票・インターネット投票にて各部門の1席～3席を決定する。主催者は各部門1席魚に10点、2席魚に7点、3席魚に5点を加点、来場者投票は会場内の投票用紙に各部門1匹のみ1点を投票、インターネット投票はめだかの館ホームページに掲載する写真を元に、各部門の中から1点を投票システムにて投票する。

これらの投票による合計点で各部門1席～3席を決定する。

同点順位が発生した場合は主催者が優劣を決定し同点順位は発生しないこととする。  
各部門の1席より主催者が最優秀賞を決定する。  
めだかの館賞は各部門1席～3席に選出されなかった個体より選出し授与する。

### ◎審査基準

品評会での審査基準を以下の通り設定する

1. めだかの基本姿勢は頭・胴・尾からなり、それぞれの部門の特徴を生かし総体的につりあいの整った固体でなければならない。
2. 総体的にバランスのとれためだかは自然と泳ぎが上手であると考えものとする。
3. 泳ぎが上手である他、鱗の欠損が無く肌つやがあり、背骨の曲がりが無い。
4. めだかの優劣を決定するには、各部を部分的に見るのではなく総体的にバランスが重要と考える。少々欠点があっても全体的にバランスがとれていれば良魚として考える。
5. 審査は欠点探しをするのではなく、良い点の多い個体を上位にしてほしい。
6. ペア部門について雌雄共に1～5の基準に準じている事と考える。
7. 1水槽部門について同一水槽内の個体が1～5の基準に準じている事と考える。

### ◎最終日タイムスケジュール

5月6日	午前11時	インターネット投票及び会場投票終了とする。
	午前11時	インターネット投票の集計を行う。
	午前11時	会場投票用紙集計
	午後1時	全体集計
	午後1時半	各部門1席～3席発表
	午後2時	最優秀賞決定、めだかの館賞決定
	午後3時	表彰式

### 注意事項

1. 品評会開催期間中主催者は出品されためだかに対し管理を徹底いたします。しかし生体であるため展示中に死亡する事も予想されます。全ての死亡については主催者は一切の保障をいたしませんのでこの点に注意され出品をお願いします。
2. 出品票に記入頂いた個人情報は、品評会開催のためのみ使用いたします。この目的以外には使用しない事をお約束いたします。
3. 審査結果についての異議申立は一切受け付けません。

### お問い合わせ

〒738-0034 広島県廿日市市宮内3500-2 めだかの館 大場幸雄  
電話 0829-39-4711 携帯090-9733-3914 FAX0829-39-4701  
E-mail satukicenter@do7.enjoy.ne.jp

### お知らせ

品評会会期中の5月3日午後5時よりめだかの館にて親睦会を開催いたします。  
全国のめだか愛好者の交流の場となることを願っております。  
親睦会参加希望の方は5月2日午前中までにめだかの館まで電話・FAX・E-mailにてご連絡ください。会費は一人1,000円です。

## 第4回 メダカ・サミット 盛大に開催!!

平成19年11月26日、めだかの館にて、『第4回 メダカ・サミット』が開催されました。メダカサミットとはメダカ愛好家が集まり、メダカ文化の発展についてや、品評会についての取り決めをする会議を行ったり、愛好家同士の交流を深める集まりで一昨年から開催されてきました。4回目を迎えた今回、全国11都道府県より総勢33名が出席し、メダカ文化の繁栄についての熱い議論が交わされると共に、昼食会やサミット終了後の懇親会ではメダカ談義に盛り上がり、愛好家同志の交流が活発に行われ有意義な時を過ごしました。

メダカ文化の繁栄に向けての具体的な提案が数多く寄せられ、メダカ愛好家間の一層の交流と情報交換及び新種メダカの認定などを目的とした「日本メダカ協会(仮)の設立」や、第1回品評会の感想、また第2回に向けての話し合いが行われました。会の設立については参加者も強く願っており、席上、全会一致で会の設立が決められました。



日本メダカ協会(仮)の会長については、清水誠氏が推薦され、他の役員については後日任命されることとなりました。アマチュア愛好家の作出新種メダカの認定、新種メダカの定義の表示、メダカの名称統一の呼びかけ等、さまざまな取り組みが行われて行く予定です。会は会員制で、地域別に支部を設け、会員同士がより密着した、全国組織に発展させていくということで、サミット参加者の会に対する強い想いが感じられました。

### 【参加者の声】

#### ●京都府M様

今朝5時30分京都を出ました。色々な方と飼育の相談や、メダカへの思いを語り合う事ができ、非常に有意義なサミットでした。片道5時間かかりましたが、来てよかったです。メダカ仲間のみなさん、ありがとうございました。

#### ●愛媛県H様

友人と2人で参加しました。沢山のすばらしいメダカ仲間の方々と知り合えて、非常に楽しめました。今後のメダカ文化の発展に期待するとともに、これからのメダカ飼育がますます楽しめそうです。



### 【告知】

次回の『第5回メダカ・サミット』は5月3日(春季メダカ品評会開催中、めだかの館にて)を予定しております。

午後5時からには愛好家同士の懇親会も行います。お気軽にご参加ください。



# メダカ協会設立へ

## はじめに

この文章は、群馬県にて【メダカ館】を営む出島喜美朗様に書いて頂いた文章です。メダカに対する思いや、メダカ協会設立へとても熱心な方です。ご一読ください。

またメダカ協会設立へのご意見、ご質問などありましたら当館までメールまたはお電話にてお問い合わせください。

.....

平成19年11月26日に「めだかの館」にてメダカサミット(全国のメダカ愛好家の集い)が開催され、「メダカ協会」の設立が決まりました。

「全日本めだか協会」の設立です。

混沌とするメダカの世界において「協会の設立」は、多くの愛好家たちの願いでもあり、大場さんが長年抱いていた夢の1つでもあります。

金魚は500年、鯉は300年、メダカは高だか十数年。

観賞魚としてのメダカの歴史はまだまだ始まったばかりなんです。

でも、だからこそ、メダカにはこれから皆で一緒に作り上げていく楽しみが・可能性が十分にあるとも言えます。

現在、メダカの世界は、その名称1つをとっても様々な呼び名が乱立し、愛好家の方々に大きな混乱を招いているのが実情です。

しかし、よく考えてみれば、皆さんご存知の通り、改良メダカの代表種である「ピュアブラック」をはじめとする「スモールアイ」や「楊貴妃、琥珀、黄金、ピュアホホワイト、銀河」、そして「様々なサムライ(セルフイン)」などを作出してきたのは大場さんです。

そして、現在の改良めだかや新種めだかのほとんど全てが、この大場めだかの流れを汲んでいると言っても過言ではありません。

ちなみに、「らんちゅう(金魚)」の世界では、古くから「家元制(宗家の襲名)」が取り入れられ、協会も設立されています。もちろん、歴史ある芸道(華道や茶道)の世界でも家元制により、長年素晴らしい趣味の世界が維持されてきたということは皆さんもご存知の通りです。

そう。

何かを楽しむためにはある程度の秩序が必要になります。

そして、その秩序が「協会」の設立なのです。

「らんちゅう」やその他の世界でも、「宗家」にふさわしいのは、プロ・アマを問わず、長年その分野に携わり、改善・改良はもとより、後世までも愛される趣味の世界に、日本文化に根ざした世界にまで育てて行こうという強い信念を持って取り組んできた人なのでしょう。

数多くの「新種メダカの作者」であるだけでなく、「第1回 全日本メダカ品評会の開催」、そして100年愛されるメダカの世界を願って「協会の設立」を提案されたのも大場さんです。

現在、メダカの生産者、販売店、そしてメダカ愛好家の方々は日本全国に沢山いらっしゃいますが、大場さんほど、メダカの品種改良に、観賞魚としてのメダカの普及に、メダカ文化の構築に力を注いでこられた人は他に思い当たりません。

今後、メダカが金魚や錦鯉に続く第3の観賞魚として、日本文化に根ざしてゆくためには、他の世界と同様に後世に素晴らしい趣味の世界を伝える意味でも「メダカの家元(宗家)」を決め、プロとアマとが垣根を越えて、一緒に協力し合える「全国的な組織(協会)」を作っていく必要があります。

名称の統一はもちろん、プロ、アマを問わず作出した新種メダカの認定や新種メダカの定義付け、固定率のデータ収集、品評会の定期開催、地域別の支部による活動など、さまざまな取り組みが可能となることでしょう。

「宗家」と「協会」という2つの大きな柱ができることにより、メダカの世界は今よりもずっと分りやすい趣味の世界となることでしょう。そして、金魚や錦鯉と同様に未永く人々に愛されるメダカを後世に伝えることができると信じております。

楽しみましょう・メダカの世界。

作りましょう・100年愛されるメダカ文化。

第4回メダカ・サミット参加者 群馬県 出島喜美朗

# 村長のメダカ体験記

## はじめに

村長のメダカ体験記は、私が2002年～2005年の約3年間のあいだに書いた文章です。読まれていく内に、現在とは異なる部分が多々ありますが、その事をふまえた上でご一読ください。私がメダカ飼育を始めるきっかけや、楊貴妃やピュアブラックなど、新種メダカを作出するまでの過程などが書かれています。ぜひご一読ください。

## <第1話 2002年4月>

私は、「広島さつきセンター」を経営している大場幸雄と言います。年齢は、47才。妻と5人の子供がいます。

さつきを始めて、25年。正月の2日間を除く、毎日店を開け、営業をしています。900坪の園内には、約1万本のさつきがあります。また、ところどころにテーブルセットを置き、お客様にゆっくりとした時間を過ごしていただけるよう環境整備に努めています。

最近は、さつきそっちのけで、こっているものがあります。それがメダカです。メダカと会うきっかけはこうでした。ある日、知人からダルマメダカが送られてきました。最初は、メダカには全く興味がなく、店の片隅に置いておきました。ところがどうでしょう。そのメダカを売ってくれというお客様が現れました。私は、言われるがまま販売をしました。その後も、ダルマメダカを売ってほしいというお客様が後を絶ちません。当時は、ダルマメダカを1匹2500円で販売していました。ところが、この値段で、どんどん売れるのです。そこで思いつきました。メダカがこんなにも高価に取り引きされるのであれば、自分でメダカを生産してみようと。卸業者から、ダルマメダカを仕入れ、交配してみました。するとどうでしょう。メダカはどんどん卵を産み、稚魚があつという間に殖えました。

しかし、事はそううまくいくはずはありません。せっかく生まれた稚魚は、1ヶ月後に全滅。一夜にして、全部の稚魚が死んだのです。私は、途方にくれました。そして思いました。ダルマメダカが1匹2500円で取り引きされるのも当たり前です。素人では、そう簡単に殖やせないのです。それからです。私は一生懸命メダカについて勉強し、研究してきました。この間の経緯については、また次号の「メダカの館 通信」で書くことにしましょう。

そのことはさておき、今や年中メダカの生産ができるように体制を整えました。約60個の水槽には、30種類のメダカ、数万匹が泳いでいます。

朝5時には、起床し、メダカハウスに直行します。さつきは、そっちのけになってしまいました。夜9時まで1日の大半をメダカハウスで過ごします。目下の目標は、新種のメダカをつくりだすことです。わくわくドキドキの毎日を過ごしています。

お近くの方は、一度広島さつきセンターにお立ち寄りください。メダカ談義に花を咲かせましょう。

## <第2話 2002年5月>

さて、前回の「メダカの館 通信」では、私がメダカの生産販売を始めるきっかけや当店の現状についてお話ししました。今回は、私自身の苦労話に少しだけ付き合っていただければと思います。

最初に仕入れたダルマメダカは順調に卵を産み、稚魚が育つまでにいたりしました。しかし、1ヶ月後、稚魚は全滅してしまいました。その原因はなかなかわかりませんでした。後になって、水槽に入れている水草が原因であることが判明しました。

当初はダルマメダカの産卵に水草を使っていました。ダルマメダカの水槽に水草を入れておき、メダカが産み付けた水草を別の水槽に移して孵化させる方法をとっていました。水草は光合成をしますから、当然、副産物である酸素を出します。ただし、問題は夜です。水草は日光の当たらない夜は光合成をしません。したがって、酸素を出しません。そればかりが、水草は呼吸をします。呼吸とは、酸素を取り入れ、二酸化炭素を出すことです。

夜間、水草は酸素を出さないばかりか、逆に水中の酸素を奪っていたのです。そのため稚魚は酸欠となり、一夜にして全滅してしまったのです。

その後、私はあちこちのメダカ販売店を見て歩くことにしました。店員にメダカの飼育方法について、あれこれ聞いて歩く毎日が続きました。しかし、肝心なことは企業秘密でなかなか教えてはくれません。

ある日、メダカを生産している方に、電話であれこれ聞いていたときのことで。私は、実際に飼育現場を見たくなりました。その旨電話で話すと、相手の方は、あっさりと、「いいですよ」とおっしゃってくださいました。

私は受話器を置くと、店の仕事は従業員にすべて任せ、車に飛び乗りました。それが何月何日のことかは忘れましたが、受話器を置いて車に飛び乗ったのは、午前11時50分でした。その時刻は今でもはっきり覚えています。私はそれほど興奮していたのです。広島さつきセンターは、広島県廿日市市にあります。そこから高速道路を使って2時間の道のり。私は、無我夢中で運転しました。

幸いにも、私はメダカの飼育現場を拝見することができました。相手の方は、メダカについて詳しく話してくださいました。ところがです。私には話の内容がさっぱりわからない。専門用語が次から次へと飛び出します。これを理解するには、相当の経験と研究が必要のように思えたのでした。

## <第3話 2002年6月>

メダカのみならず淡水魚の飼育は、梅雨の時が一番難しいと言われます。しかしながら、「広島さつきセンター」の「メダカの館」は、一定の温度と湿度を維持していますから、梅雨だからといって、飼育はさほど困難ではありません。

ただ、私がここまでたどり着くには、相当の苦労がありました。最初の頃は、メダカの専門家の話を聞いても内容がわかりませんでした。専門書を読んでみましたが、実感が湧きません。

そこで、私はまずいろいろなメダカを実際に飼育してみることにしました。その当時に金額にして、20万円ほどのメダカを購入しました。最初は自宅で飼育していましたが、年中メダ

力を繁殖させるには、一定の温度が必要です。そこで、物置として使っていたプレハブ小屋を改造し、メダカ小屋をつくることにしました。電気を配線し、クーラーと扇風機を取り付けました。また、冬越しのために、灯油の暖房機を設置しました。

メダカの飼育方法については、ある人から詳しい話を聞くことができました。出会いは、全くの偶然でした。その人は、ある日のこと、店にひょっこり現れたのです。いろいろな話をするうちに、その人のことがだんだんわかってきました。長年、グッピーをはじめあらゆる熱帯魚を飼育してきた人でした。ちょうどその頃は、メダカの飼育にこってっていました。メダカについては、専門書をすべて読み切った人だったのです。メダカ小屋をつくる時にも、その人からいろいろとアドバイスを受けることができました。今日の私があるのは、その人との出会いがあったからです。また、前号の「メダカの館 通信」にも書きましたが、他の飼育業者からもいろいろなことを学びました。

話は変わりますが、アルピノメダカという種類があります。このメダカの繁殖には苦労しました。当時、アルピノは1匹5万円でした。それを10匹仕入れました。合計で50万円の出費でした。そのアルピノが7匹死亡。残るは3匹。その3匹でアルピノを繁殖させたこともありました。

メダカの飼育を始めてみようという方がありましたら、最初はあまり高価なメダカは避けたほうがよいでしょう。お勧めはダルマメダカです。ダルマメダカは姿かたちがかわいらしく、泳ぎ方もユーモラスです。

ダルマメダカの中には、体長が少し長いものがあります。私はこれを「半ダルマ」と呼んでいます。この半ダルマが特にお勧めです。普通のダルマメダカに比べ、環境の変化に強く、初心者でも楽に飼育ができます。また、繁殖は比較的容易ですので、メダカに興味をお持ちの方は、この「半ダルマ」から始めるとよいでしょう。

#### <第4話 2002年7月>

さて、前月号では、「半ダルマメダカ」の飼育をお勧めしました。半ダルマはダルマに比べ丈夫で、初心者にも簡単に飼えることをお話しました。

半ダルマは繁殖も容易なのですが、半ダルマの子どもは、すべて半ダルマになると思う方もあるかもしれません。しかし、実際はそうではありません。半ダルマからもダルマが産まれるのです。ただそれには、「コツ」がいます。今回は、このコツについて話してみたいと思います。

受精卵は細胞分裂を繰り返し、やがてメダカの形になります。その過程を一般には、「発生」と言っています。コツというのは、その発生の際の温度管理にあるのです。

私は、最初温度管理のことがわからず、交配をしていました。あるときには、半ダルマの親から、同じ半ダルマが生まれたり、またあるときは、ダルマが生まれたりしていました。この原因を探っていくうちに、発生の際の温度が関係していることがわかりました。発生の際の温度が低いと子どもは半ダルマになり、温度が高いとダルマになることをつきとめました。さらに詳しく温度を調べたところ、子どもがダルマになるか半ダルマになるかの境目は、27℃であることがわかりました。つまり、発生の際の温度を27℃以上に保つことができれば、生まれる稚魚はダルマになります。その確率は、約90パーセントです。

このことがわかれば、半ダルマからダルマをつくり出すのは容易になります。初心者の方はダルマメダカのユーモラスな形や動きに魅力を感じられることでしょう。そのためには、ダルマを最初から購入するのもよいのですが、丈夫で飼いやすい半ダルマがよいでしょう。メダカを繁殖させるのもメダカを飼う楽しみの一つですが、半ダルマからユーモラスなダルマを繁殖させることができるのです。このことも、私が半ダルマをお勧めする理由なのです。先ほど述べましたように温度管理に気をつけて、半ダルマからダルマをつくり出しててください。実際に繁殖させるには、半ダルマ10匹以上を飼いましょう。メダカの色にこだわる必要はありません。どの色でも結構ですから、半ダルマからダルマをつくり出しましょう。いろいろな色のダルマメダカが生まれるはずです。生まれたダルマメダカが成長したら色別に分け、生きたメダカのコレクションをつくるのも楽しいものです。次号では、近年つくりだされた「ホタルメダカ」について、お話ししましょう。

### <第5話 2002年8月>

近年発売されたメダカに、「ホタルメダカ」というものがあります。ホタルメダカは、別名「ヒカリメダカ」とも言いますが、同じものです。当メダカの館では、「ホタルメダカ」と呼んでいますので、ここでは、ホタルメダカという名前を使うことにします。当店においては、最近になり、プラチナのごとく光り輝くホタルメダカができるようになりました。しかし、ここまでたどり着くには、相当の苦労がありました。その一端をお話したいと思います。

私は最初、メダカ生産業者から通信販売で、茶色と黄色のホタルメダカを購入しました。一匹の値段は、5000円程度だったと思います。

ホタルメダカの特徴は、なんと言っても背中が光ることです。熱帯魚の中にも体が光るものとして、ネオンテトラなどがいます。それほどの光りはありませんが、日光や蛍光灯を当てると、背中の中央がくっきりと光るのです。

光るのは虹色細胞というものがあるためです。この虹色細胞は、普通目の縁や腹の部分にあるのですが、それが背中に回ったものです。そのため、背中が光るのです。また、ひれにも特徴があります。ホタルメダカは背びれがしりびれと同じ形をしているのです。しりびれが背びれに転移したのとも考えられます。また、尾びれはひし形をしています。

普通のメダカとホタルメダカの違いを見極めるには、背中の光り具合だけでなく、背びれの形に注目するとよいでしょう。

さて、私は購入した茶色と黄色のホタルメダカをもとに交配に交配を重ねました。試行錯誤の末、青色のホタルメダカをつくり出すことに成功しました。しかし、白色のホタルメダカはどうしてもつくり出すことができません。

あちらこちらのメダカの養殖業者のパンフレット等の資料を取り寄せたり、淡水魚の雑誌を

丹念に調べてみましたが、どこにも白色のホタルメダカはいませんでした。

私は考えました。なんとかして、白色のホタルメダカをつくり出すことができれば、重大ニュースになるだろうと。私は魅せられたように研究に没頭しました。茶色や黄色のホタルメダカの中にも、白色になる遺伝子がきっとあるはず。理論上は、つくれるはずなのです。しかし、どうやっても白色のホタルメダカをつくり出すことはできませんでした。

しばらくして、私は白色のホタルメダカを発見することになるのです。それは、全くの偶然でした。そのことについては、次号でお話することにしましょう。

### <第6話 2002年9月>

前月号では、ホタルメダカについて話してきました。今月号では、ホタルメダカの中でも白色のホタルメダカについてお話ししましょう。

私は、茶色と黄色のホタルメダカからいろいろな色のホタルメダカをつくり出しました。しかし、とうとう白色はつくることはできませんでした。

白色のホタルメダカとの出会いは全くの偶然でした。私がメダカの先生と仰ぐ人が、普通の白メダカを200匹持って来たのです。そのメダカを水槽に入れ、二人で眺めていたときのことです。「おっ」と先生が言いました。私はその方向を見ました。「あっ」と短い私の声。

普通の白メダカの中に、変わったメダカがいるのです。背骨がへんの字のように曲がっており、奇形中の奇形と言ってもいいでしょう。しかし、背中が光っているのです。私たちは、そのメダカを小さい水槽に移し、じっくりと観察しました。背中が光っているだけではありません。背びれがしりびれと同じ形をしているのです。奇形ではあるものの、正真正銘のホタルメダカです。しかも、色は白。

同じような白色のホタルメダカはまだいないかと懸命に探しました。「いた」二人は叫びました。他にも2匹いたのです。それも別の水槽に入れ、横から眺めてみました。やはり、ホタルメダカです。200匹の白メダカの中に、3匹の白色のホタルメダカがいたのです。

先生は、3匹の白色のホタルメダカを車で3時間かけて、「メダカの研究所」に持って行きました。その研究所では、種々のメダカをつくり出し繁殖させ、研究していたのです。研究所で白色のホタルメダカを見てもらうことにしたのです。

先生がメダカを見せると、研究員はこう言ったそうです。「とうとう出ましたか」。やはり、このメダカは私が捜し求めていたものだったのです。研究所にも、白色のホタルメダカはいないようでした。

研究員は、続けてこう言いました。「一匹いただけませんか」。どうもこのメダカは、研究に値するもののようです。メダカを持って行った先生は、研究のためならと考え、一匹を研究所に差し上げました。

残るは、白色のホタルメダカ2匹。さて、どうしたものでしょう。私はとりあえず、このメダカを繁殖させることにしました。

### <第7話 2002年10月>

200匹の白メダカの中から発見した3匹のホタルメダカ。1匹は、「メダカの研究所」に差し上げました。残るは2匹。この2匹のホタルメダカをどうしたものか……。前号では、こまでお話しました。今月号は、その続きです。

残る2匹の白色のホタルメダカから、多量のホタルメダカをつくり出すことが私の課題になりました。しかし、2匹だけでは繁殖は望めません。

そこで、このメダカと茶色と黄色のホタルメダカをかけ合わせて、子どもをつくることにしました。一般に親からできた子どもをF1(エフワン)と呼びます。F1をつくり出すのは、ひやひやものでした。親の白色のホタルメダカが死んだのでは、元も子もありません。

毎朝起きるとすぐに、メダカハウスにかけて行きます。「生きていた」。一安心です。しかし、卵はまだです。そう簡単に卵は産みません。夜、メダカハウスの電気を消すとき、また、親メダカを見ます。「明日も生きていてくれよ」。心の中でそうつぶやきます。毎日がこのような連続でした。

何日が後、私には随分日数が経ったように感じられましたが、やっと卵を産みました。これでなんとかF1をつくることができました。しかし、F1は背中が光っているものの、鼻が下がり、背骨が曲がった、言わば奇形なのです。

次にF1同士をかけあわせ、F2(エフツー)をつくり出すことに成功しました。F2の10匹のうち1匹の割合で、形のよい白色のホタルメダカが出現しました。そこで、F2を多量につくり、その中から形のよいものを選別し、再び交配を繰り返します。そうしてできたF3(エフスリー)は、一応完成品と呼べるものでした。

やがて、白色の中でも、「ミルキー」という本物の純白種をつくり出すこともできるようになりました。ただ、できたミルキーは、100%メスなのです。これでは、ミルキー同士の交配はできません。どうしても、ミルキーのオスが必要です。今のところ、ミルキーのオスはできていません。いつの日にか、オスをつくり出すべく研究中です。



## <第8話 2002年11月>

これまで、「ホタルメダカ」や「ダルマメダカ」について書いてきましたが、今回は、「ホタルダルマメダカ」について、お話ししたいと思います。

ホタルメダカは、背中が光っており、背びれに特徴があります。他方、ダルマメダカは、普通のメダカに比べ、体長が短く腹が出ているものです。「ホタルダルマメダカ」は、「ホタルメダカ」の特徴と「ダルマメダカ」の特徴を併せ持つものです。

私が、このホタルダルマメダカを最初に目にしたのは、実物ではなく、雑誌の写真でした。ある淡水魚の雑誌に、黄ホタルダルマメダカが紹介されていました。私は、このホタルダルマメダカをつくる誘惑に駆られました。

私の考え方はこうでした。ホタルダルマですから、ホタルとダルマを交配すればいいことになります。ただ、それだけでは、ホタルダルマは出ないことはわかっています。交配してきたF1をかけ合わせ、F2をつくる必要があります。そうすれば、F2にはホタルダルマが出るはずで、それは、私の経験からも、また、メンデルの法則からも言えることです。

そこで、まず黄ホタルと黄ダルマを親として交配し、F1をつくることにしました。卵は比較的簡単にとることができました。私は、ドキドキ、ワクワクしながら、成長を待つことにしました。メダカは順調に成長しました。

成長したF1は、予想通りすべて普通の黄色のメダカでした。見た目には、一般に広く販売されているヒメダカと何ら変わりがありません。このままF1を売れば、1匹20円程度でしょう。いくらたくさんF1を生産しても、利益は上がらないばかりが、元も取れません。

ただ、F1は見た目には普通種でも、特別な遺伝子をもっています。ですから、F1同士をかけ合わせれば、F2では特別な種が出てくるはずで、

F1同士を交配し、F2をつくり出しました。するとどうでしょう。予想通りホタルダルマが出るではありませんか。

私が実際にやってみたところ、1000匹のうち、ホタルダルマは10匹程度。1～2割がホタル。1～2割がダルマ。残りがF1と同じ形質をもつものでした。1000匹程度の生産ですから、この割合は、確定したものとは言えないでしょう。しかし、F2の段階で、ホタルダルマメダカをつくり出せることがわかったのです。

## <第9話 2002年12月>

メダカを飼育するには、水温の管理も大切ですが、害虫や病気への対応が必要になってきます。私は、初期には、プレハブ小屋を改造し、その中でメダカを飼育していました。その頃に

は、メダカの飼育環境に随分頭を痛めたものです。

プレハブ小屋には小さな窓が一つ。日光はあまり入りません。それを補うべく蛍光灯をたくさんつけ、温度を上げるために灯油のヒーターをたいていました。それでも、メダカは病気になるったり、稚魚が水槽ごと全滅することがありました。

その中でも苦労したのが、ヒドラの発生でした。水槽に発生するヒドラの大きさは2~3mm。これが大量に発生するのです。ヒドラが発生すると、一夜にして稚魚は全滅してしまいます。稚魚の入っている水槽から、小さいヒドラだけを取り出すことは不可能です。水を入れ替えようにも、稚魚だけをすくうのは、至難の業です。

人に聞いた話では、ヒドラはホルマリンに弱いようです。しかし、ホルマリンを水槽に入れたのでは、ヒドラだけでなく、稚魚も死んでしまいます。私は考えたあげく、なるべくヒドラを水槽に入れないようにすることにしました。メダカの産卵にはシュロの葉を使っていましたが、このシュロの葉やメダカをすくう網をすべてホルマリンで洗い、乾かして使うよう心がけました。しかし、それでもヒドラの発生を完全に防ぐことはできませんでした。

ヒドラを退治する薬がないわけではありません。私は以前にヒドラに効き目があるという薬を外国から輸入していました。しかし、その薬を使う気にはなりません。この薬は、コイに有害だと聞いていたからです。コイに有害ならば、メダカにも有害なはず。ましてや、メダカの稚魚に使おうものなら結果は目に見えています。

ただ、ヒドラに悩まされていた私は、困り果てていました。薬は輸入したものの、使おうか使うまいか迷い、とうとう一年半も使わず放置していました。私は決断しました。「思い切って使ってみよう」。一つの水槽だけに使えば、稚魚の被害も最小限ですみます。輸入していた薬をほんの一滴、一つの水槽に落として様子を見ることにしました。

翌朝、薬を入れた水槽を恐る恐る見ました。するとどうでしょう。ヒドラは全滅し、水槽に浮いているではありませんか。稚魚はというと、元気に水槽の中を泳ぎ回っています。こうして、ヒドラとの闘いには勝利したものの、敵は次々と現れるのでした。

### <第10話 2003年1月>

前月号では、ヒドラとの格闘の話をしました。ヒドラは、水温が高く、日当たりのよい水槽にはあまり発生しないようです。このことは、日光の重要性を私たちに教えてくれます。日光は、水温を上げるだけではありません。日光に含まれる紫外線が重要な役割を果たしてくれるようです。

紫外線というと、人体に悪影響を及ぼすもののように考えがちですが、同時に殺菌作用もあるのです。メダカに有害な雑菌も日光の紫外線で死滅することもあるのです。ですから、丈夫なメダカを育てるには、十分な日光に当てるのが大切と言えます。

また、メダカに限らず、どの水棲生物にも言えることなのですが、水温が17℃前後のときが一番危険なようです。季節で言うと、春の4～5月。秋の9～10月が飼育には一番難しい時期です。病気も発生しやすく、メダカも水カビ病や白点病にかかったりします。ですから、この時期には、ある程度メダカが死ぬのを覚悟しなければなりません。

ただ、この時期、病気を防ぐために、適量の薬を入れておくのもよい方法です。薬として有名なものに、「メチレンブルー」や「マラカイトグリーン」などがあります。これらの薬はペットショップにも売られていますので、簡単に入手することができます。

それでも病気になるようでしたら、ヒーターで水温を30℃に上げ、薬を使うとよいでしょう。水温が上がると、雑菌の力も弱まり、薬の効き目がよくなります。

水温や水質の管理に十分心がけ、飼育に難しい時期を乗り切りましょう。

### <第11話 2003年8月>

本年2003年に新発売いたしました「ピュアブラックメダカ」についてお話したいと思います。このメダカを作るに至った経緯はこのようでした。

3年前のことでした。一匹の真っ黒いメダカを発見。普通の茶メダカではありません。普通の茶メダカは保護色の機能をもつため、入れた容器の色により体色が変わります。しかし、発見したメダカは、真っ黒なのです。白い容器に入れても、体色が変わらないのです。その他にも特徴がありました。頭が小さく、目が点のように小さいのです。体も他のメダカに比べて長いようでした。私は、このメダカを「黒べえ」と名づけました。

私は、この「黒べえ」に非常に魅力を感じました。そこで、このメダカを交配し、繁殖させ、固定化したいと思いました。ただ、私より先にメダカを飼育してきた先輩達は、無関心でした。一言こう先輩に言われました。「このメダカは奇形だから、止めておいた方がいい」そう言われれば、意地になるのが私の性分。

どのメダカにでもいいから、この「黒べえ」の遺伝子を残したいと思いました。他のメダカと交配したところ、ほんのわずかですが卵がとれました。その数、2～3個だったように記憶しています。

卵は孵化しましたが、稚魚はなかなか体が大きくなりませんでした。アルピノメダカの稚魚もなかなか大きくなりませんが、それと同じです。

それでも、続けて他のメダカ2～3匹と交配し卵をとりましたが、やがて、その「黒べえ」は死んでしまいました。

やっと何匹が産まれたF1。大切に大切に育てました。

1年後、F1同士を交配し、F2をつくることに成功しました。F2をじっくり観察していると、

真っ黒なメダカを1~2匹発見。あの「黒べえ」です。F2で真っ黒なメダカが出てくることは理論上はわかっていましたが、実際にそのメダカを目にした私は、思わず、「やった〜」と心の中で叫びました。

また、そのF2を大切に育てました。そして、ありとあらゆるメダカと交配しました。なんとか、この「黒べえ」の遺伝子を他のメダカに移し、残すためです。交配したメダカは、茶色の普通種、ダルマ、ホタル、アルビノホタル、アルビノダルマなどなど。あらゆるメダカと交配を重ねること2年。試行錯誤の連続でした。

その結果、やっと普通種の形をした「黒べえ」が固定化しつつあります。

この「黒べえ」を発売するにあたり、もっと良い名前はないものかと思案しておりました。このメダカは、体型にも特徴があるのですが、何と言っても、最大の特徴は、その黒さにあります。保護色の機能をもたず、全くの純粋な黒色です。そんなことを友人と話していたときのことです。「純=ピュア、黒=ブラックだから、ピュアブラックはどうだろう」ということになりました。

そのときから、このメダカは、「黒べえ」改め、正式に「ピュアブラックメダカ」という名前になりました。

現在、普通種のピュアブラックメダカは販売しております。このピュアブラックメダカ同士を交配しますと、素晴らしいメダカが生まれます。生まれるメダカは、普通種(フルカラー)、ホタル(フルカラー)、ダルマ、ホタルダルマ、スーパーホタル、目点スーパーメダカなどです。また、100匹中、4~5匹の割合で、ピュアブラックメダカが生まれます。

なお、ピュアブラックメダカのダルマ、ホタル、ホタルダルマは、2004年発売予定です。ピュアブラックダルマメダカをご覧になりたい方は、当店のホームページの「メダカ王国(ビデオ画像)」をクリックしてください。動画が入っています。

## <第12話 2003年9月>

前号で述べました経緯により、「ピュアブラックメダカ」作りは軌道に乗ってきました。

私の今現在の思いは、新たなるメダカの新種作りへと発展しています。

昨年秋より、約70種類のメダカを交配してきました。今は、それらから作り出したF2の中で、新種探しに没頭しております。毎日が交配、選別の連続であり、その中に、喜びや感動を見出しております。できることなら、毎日、一日中、メダカハウスの中にこもり、新種作りのための研究をしたいくらいです。

私が今取り組んでいる新種は、黄金、シルバー、赤色、ピュアブルーなどの体色をしたメダカです。また、尾びれに特徴のあるメダカを作りたいとも思っています。

例えば、金魚のような三尾をもつものや、グッピーのような長く大きなひれをもつものです。さらに、強い光を放つ全身プラチナのようなメダカや全身にラメが入ったようなメダカを作り出したいと思っています。

お客様の中には、2色メダカをご覧になった方もあることでしょう。私も、黄黒、青黒の2色メダカを実際に見たことがあります。ただ、これらのメダカは保護色のため、入れる容器によって、色が薄くなってしまいます。これでは、本物とは言えません。

私が目指すのは、保護色の機能をもたない2色メダカです。それも、紅白の2色メダカに挑戦したいと思っています。色の組み合わせから言えば、紅白に勝るものはいないでしょう。

さらに、将来は、2色にとどまらず、3色メダカも作ってみたいと考えています。

今まで私が作り出した新種の中で、今年の夏、ほぼ固定化しているメダカとしては、次のようなものがあります。

「うす黄金ホタルメダカ」「目点パールスーパーホタルメダカ」「目点シルバーメダカ」などです。

もちろん、固定化しつつあるものには、「ピュアブラックメダカ」も含まれています。

今年の秋までに、どれだけの新種ができるか楽しみにしておいてください。

また、皆様の中で新種のメダカや変ったメダカを発見された方がありましたら、「めだかの館」まで、ご一報ください。是非、見せていただきたいと存じます。

### <第13話 2003年10月>

メダカがブームになってから、何年になるでしょうか。このブームは、単なるブームで終わるのでしょうか。いや、そんなことはありません。

新種メダカが登場し続ける限り、メダカブームは、ますます熱を帯びてくるものと思われるます。

日本では、鯉や金魚が長年にわたり改良に改良を重ねられ、愛好家を楽しませています。おそらく、メダカもそのようになり、愛好家が定着することでしょう。また、私は、それが現実になるよう努力を続けるつもりでおります。

将来的には、様々な人々がメダカの改良を行い、そのメダカを発表する場として、「メダカの品評会」を開催したいとも考えております。

また、余談になりますが、メダカにかわいい名前を付けたいとも思っています。皆様の中で、かわいい名前を思いつかれた方がありましたら、お知らせ下さい。「めだかの館」では、メダカのお愛称を募集しております。

### <第14話 2003年11月>

今回は、「アルビノホタルダルマメダカ」について書いてみようと思います。私が、最初にその名前を知ったのは、2001年のこと。あるパンフレットでした。

パンフレットには、こう書かれていました。

「メダカの最高峰 アルビノホタルダルマメダカ」その値段を見て、ビックリ。1匹が14万8千円。残念ながら、写真はのっていませんでした。さて、それからです。私のアルビノホタルダルマメダカへの挑戦が始まったのは。

当時、アルビノの普通種も高価でした。これは、「第三話」にも書いたことなのですが、アル

ピノの普通種は、1匹が5万円。それを10匹仕入れました。合計で50万円の出費でした。しかしながら、そのアルピノが7匹死亡。残るは、3匹。その3匹を使って、アルピノホタルダルマメダカに挑戦となったわけです。

考え方は、こうでした。まず、アルピノとホタルを交配し、アルピノホタルをつくります。同時に、アルピノとダルマを交配し、アルピノダルマをつくる。このようにしてできた、アルピノホタルとアルピノダルマを交配すれば、アルピノホタルダルマができるはずです。

そこでまず、アルピノとホタルを交配しました。アルピノは、卵を浮き草やシュロに産みつける習性はありません。卵をそのまま、産み落とすのです。それも一個ずつ産み落とすのです。普通のメダカでは、いくつかの卵がかたまっているのですが、アルピノには、そういうことがないのです。

それに、卵を産む時間帯が一定していません。普通、メダカは早朝に卵を産むことが多いのですが、アルピノはいつ産むのかわからないのです。

したがって、水槽の中をいつもきれいにし、常時観察し、いつ産まれても卵が発見できるようにしておかなければなりませんでした。

アルピノとホタルを交配してできたF1は、ごく普通の茶メダカのような格好をしています。目も赤くありません。しかし、ここであきらめてはいけません。F1で、目指すアルピノホタルが出なくても、F2では、出てくるはずです。

F1同士を交配したところ、確かにアルピノが出ました。しかしです。アルピノホタルが出る確率は百分の一程度です。後は、アルピノの普通種が出ます。F2はできたものの、これが非常に弱いのです。稚魚のうちに多くが死んでしまいます。生き残ったものも成長が非常に遅いのです。

アルピノとダルマの交配も同様でした。幾多の困難を乗り越え、やっとアルピノダルマをつくることに成功しました。

さらに、アルピノホタルとアルピノダルマを交配し、同様に、アルピノホタルダルマを完成させました。

当時は、早くアルピノホタルダルマをつくりたい一心でしたので、冬にはヒーターで水温を上げ、蛍光灯も24時間つけっぱなしの状態でした。

私が、アルピノホタルダルマメダカ作りに夢中だったころ、2001年当時でしたが、「めだかの館」には、多くのマスメディアが取材に来ました。地元テレビ局も、ほとんどが取材に来ました。

当時は、メダカが絶滅危惧種に指定されたこともあり、また、変りメダカとして改良メダカに注目が集まりつつあるころでした。

私は、もともとは、さつき屋で、さつきを始めて25年になります。その間、さつきに関しては、マスメディアの取材など受けたこともありませんでしたが、メダカを始めてわずかの間に、多くの取材を受けたものです。

### <第15話 2003年12月>

やっと作り出したアルピノホタルダルマメダカ。値段は、1匹数万円にしたと思います。数万円でも、私のそれまでの苦勞に比べれば安いぐらいのもので。しかし、当時は、1匹数万

円のメダカが売れるはずもなく、店の「看板」として、陳列しておりました。  
ところが、忘れもしません。2001年8月13日、午後4時ごろのことです。ある来店者が、「アルピノホタルダルマを5ペアください」とおっしゃる。

最初、私は、そのお客様が桁の一つ間違えているのではないかと思ったのです。1匹数千円ならば、計10匹で数万円ですから、買えない値段ではありません。

しかし、お客様に値段を確かめるのも失礼です。私は、緊張しながら、5ペアを水槽からすくいあげました。

恐る恐る、お客様に、本当の金額を言いました。

ところが、お客様は、驚きもせず、財布から1万円札を次々出されるのです。札は、すべて新札でした。私は、正直言って、ビビりました。

後でわかったことなのですが、そのお客様は、当店のアルピノホタルダルマメダカを見るのは初めてではありませんでした。当店が、いつも出店をしている催し物会場で、すでに目にされていたのです。ですから、買う気になって、当店までこられていたのです。当然、財布の中に、かなりの額のお金が、用意されていたことでしょう。

そのお客様は、メダカ専用の水槽を特注でつくらせているとのことでした。長さ1メートルの水槽です。1メートルと言えば、かなりの大きさです。その水槽に、メダカ10匹では少ないことでしょう。もっとアルピノホタルダルマメダカを買われるかもしれません。

案の定、4日後の8月17日、また、ご来店。アルピノホタルダルマメダカを、もう5ペア買われて行かれました。

話は少し変わりますが、当時のアルピノは、弱かったのですが、本当に透明でした。透明度が高く、血管の色で、薄いピンクに見えたものです。弱いだけに、高値で取引されるのも当たり前でした。

しかし、最近のアルピノは強くはなりましたが、黄色がかった色になってしまいました。黄色がかったアルピノは強く、繁殖力は旺盛です。そのため、メダカの知識があまりなくても、繁殖が容易になりました。

他店で安売りされているアルピノを見ることもありますが、ただ目が赤いだけで、黄色がかったものが多いようです。これでは、本物のアルピノとは言えません。

当店のアルピノは少し高価ですが、美しい透明感を持ち、泳ぐ姿も華麗です。

今でも、本当に、透明なアルピノをつくるのは至難の業であり、高値で取引されるのも当然と言えますでしょう。

#### <第16話 2004年8月>

ピュアホワイトダルマメダカ♀ メダカの交配を始めた頃は、親メダカのシルキー(うす黄メダカ)、ミルキー(♀白、♂うす黄)10匹を購入。ミルキーの名前を知ったのはこのときです。2~3年後、色がどう違うかわからずに小メダカクリスタルホワイトに出会い、50匹購入。

数ヶ月たっても卵が一切産まれない。全メダカを調べてみると、全部メス。ショックでした。そこでクリスタルホワイトは当店から消え、私の先輩が約10年、シルキーのオス・メスの純白を目指し交配を続けていましたが、純白のオスメダカは固定できないとのことでした。

私はその頃、白ホタルメダカを発見(メダカの館通信 第6号7号に掲載)。奇形でシルキーメダカです。色は問題ではありません。白ホタルメダカで良い形をしたメダカにするため、交配を繰り返しました。

2年前、平成14年その数千匹のホタルメダカの中に約1センチほどのオスメダカらしきものを発見。大切な1匹です。死なせることのないよう大事に大事に育てました。そのメダカが大きくなって純白であること、オスであることを願いながら。

やがて、そのメダカがメスをおいかけるようになりました。相手探しです。メスの純白はたくさんいます。相手はシルキーの半ダルマにしました。ホタル♂×半ダルマ♀から生まれるメダカは、普通種、ダルマ、ホタル、ホタルダルマの予定です。

1対1交配は、毎日が勝負です。卵一個残らず、根気よく卵を別水槽に移します。はじめの頃は、無精卵が多いようでした。やがて、有精卵が生まれ始め、初めに産まれた無精卵のカビが移らないよう、有精卵は葉につけ、殺菌してから水槽に入れます。

約10回取れば成功です。後は、2~3ヶ月待ち、F1の子供が孫メダカを産んでくれるのをひたすら待ちました。

できました。99%純白です。数百匹の中でピンクが1匹で、ダルマ、半ダルマ、ホタル。その中には数匹のホタルダルマ。あまりの白さにびっくり。一人ニヤニヤしたものです。

たった1匹のオスを発見したことにより、白メダカ全種類の純白化に成功しました。

現在、青メダカで同じことをしています。みなさん、青メダカのオスを見たことがありますか?オスはすべてグレーです。青メダカは95%できましたが、まだ、オスがグレー色です。スカイブルーは(オスにおいてもブルー)平成17年にできると思います。

メダカはすべて保護色を持っています。入れる器に体色をあわせ、天敵より身を守っています。白メダカは白色の色素しか持っていません。シルキーは、オス、メスとも黄色の色素を持っています。シルキーのオスは、数パーセントのメダカにおいて黄色の色素も持っています(婚姻色が尾びれで黄色に変色します)。

今までの数万匹のピュアホワイトの全種類のオスのほとんどに婚姻色が見られません。器によってはピンクに見えます。これは血管が浮きで見えるためです。ピュアホワイトの色を確かめるには、黒が青の器で見てください。よく白さがわかります。

皆さん、白メダカの、普通種以外のホタル、ダルマ、ホタルダルマのオスを見てください。ほとんど純白はいません。

当店のピュアホワイトは白系全種純白です。数万匹のピュアホワイトを生産しましたが、固定率99%です。(純白度)

一つ問題は、当店から出荷した時、ピュアホワイトの名前をつけていますが、業者の間で生産され、シルキーの名前で販売されているものがあります。当店のピュアホワイトを購入し、またその店でシルキーを買うと、同じメダカということが起こるかもしれません。



私は学者ではありません。白メダカの中の白色の色素が何%で黄色の色素が何%かはわかりません。

ピュア(純)という名前も、ピュアという響きがかわいいので、メダカの名前にいいと思いついたものです。

現在、白メダカにおいて、普通種、ダルマ、ホタル、ホタルダルマのオス全部、純白というメダカはほかにないと思っています。

ピュアホワイトは、白メダカ全種で純白です。固定率99%です。ぜひ他の白メダカと比べてみてください。

ピュアホワイトについて、さらに詳しく知りたい方は、当店までお電話ください(TEL0829-39-4711)。直接ご説明したいと存じます。

### <第17話 2005年5月>

朝晩の気温差が大きいこの頃ですが、皆さんお変わりありませんか。

このところ忙しくしており、「めだかの館 通信」が途絶えております。すみません。ようやく少しだけ書く時間ができました。

最近、さつきの方は人に任せきりで、メダカの世話ばかりしています。朝3時過ぎには起床します。起きるとすぐに、メダカハウスに直行。この時間、メダカも熟睡中かもしれません(笑)。寝不足のメダカを前にして、選別に夢中になっています。

今回は、特に「セルフィンメダカ」に絞って書いてみようと思います。セルフィンメダカの特徴は既にご存知でしょう。背びれが2枚に変化しており、1枚はヨットの帆のように立っています。熱帯魚などでは、よく見られるものです。

あるときのことです。先輩より6匹のセルフィン(兄弟メダカ)を預かりました。私もセルフィンを2匹もっていました。それらのセルフィンをもとに、交配を始めることにしました。現在、F2~F3の段階です。

交配は、♂1対♀1です。これを全部で15水槽つくりました。いくつかの水槽では失敗しましたが、成果が上がっている水槽もあります。少し紹介しておきます。

水槽No15。2004年に、セルフィン×ピュアホワイトホタルの1対1交配。交配・選別を繰り返し、F3までできました。F3では、20匹すべてが全部セルフィンとなりました。大感激です。20匹の中から、ベストなものを4匹選び出し、1対1交配を2水槽作りました。

水槽No13では、2004年、シルバーホタルダルマ×セルフィンの1対1交配。交配・選別を行い、5対7で水槽セ-13-3を作りました。その中から、チョコメダカを発見。現在、1対1で交配を開始しています。これは楽しみです。

水槽No14。2004年、シルバーメダカ×セルフィンの1対1交配。F2で、スモールアイが17匹、ピュアブラックが3匹産まれました。この計20匹で、水槽Noセ-14-3を作り、親メダカとしました。

水槽No9は、セルフィン×ピュアブラックです。2004年交配。現在、ピュアブラックセル

フィンが2匹できています。

No14、No9の水槽で、F1においてピュアブラックが出現しています。つまり、これらのセルフフィンは、ピュアブラックの遺伝子を持っているということです。今までの経験をもとに、全種類のセルフフィンを作りたいと考えています。

さて、話は変わりますが、メダカのネーミングについてです。例えば、ピュアブラックセルフフィンホタルダルマメダカがいます。当園の記号で言いますと、PB・SF・HDとなります。どうもアルファベット記号で表すと感じが出ません。また、日本メダカの名前に長いカタカナの名前をつけるのもどうかと思っています。セルフフィンという名前も私としては、好きではありません。「めだかの館」のホームページをご覧の皆さん、何かいいアイデアはありませんか？

ただし、セルフフィンを「角(つの)メダカ」と呼ぶのはやめてくださいね。というのは、ある通販サイトで、先輩より預かり、私が交配し作出したセルフフィンを「角(つの)メダカ」という名前で売り出しているのです。先輩にも申し訳ありません。この名前を聞くと、私に角がはえてきそうです。

何かいい名前が浮かびましたら、「めだかの館」まで投稿してください。投稿採用の方には、セルフフィン系メダカをプレゼントしたいと思っています。

ところで、「めだかの館」の会員の方で、尻ヒレにセルフフィンが出た方がいらっしゃいましたが、どうなりましたか？ 当園のセルフフィンと交配すると、上下のヒレがセルフフィンのメダカができるかもしれません。

上下のヒレがセルフフィン、体色が琥珀、体形がホタルダルマのメダカができればすごいですね。想像するだけで、ワクワクします。

### <第18話 2005年6月>

楊 貴 妃～赤メダカへの挑戦! 鯉・金魚の赤に近づけたい～

2003年夏、7月のことです。黄金系メダカを黒色の入れ物で飼っていました。その中に、変わったメダカがいました。変わった色です。しばらく成長するのを待ちました。9月に本格的にチェック。

やはり、変わった色です。黒茶?黄茶?何色と表現すればいいでしょう。今までに見たことのない色。変わったメダカを見つけると、交配したくなるのが私です。遺伝すれば面白いことになりそうです。

このメダカを元に、交配をはじめました。何度も交配を繰り返し、あるメダカができました。そのメダカについては、次の通信で書きますが、その後できたのが、「楊貴妃」の「親メダカ」です。

「親メダカ」は緋色が強く、とても目立っていました。交配をする前から、作出するメダカの

ニックネームが思い浮かんでいました。名前は、神秘的な赤の美しさから、世界三大美女の一人、「楊貴妃」としました。

話は以前に戻るのですが、5年前、私は「赤メダカ」づくりに挑戦していました。赤っぽい色のメダカを選別し、交配を繰り返しました。しかし、F4において色が薄れ、ピンクメダカになってしまいました。F4まで努力したのに、だめだったのです。私は嫌になり、「赤メダカ」をあきらめました。

今回は、それ以来の赤への挑戦となったのです。先ほど述べた「親メダカ」を1対1で交配し、F1を6匹作りました。すぐに、「親メダカ」を「めだか研究会」のSさんに預かっていただき、F1を作ってもらいました。

私は自分で作ったF1で交配を繰り返しました。Sさんには、SさんのF1での交配をお願いしました。その結果、Sさんの水槽からは、スモールアイが3匹産まれました。私の水槽からは、ダルマ、ホタル、ホタルダルマが産まれました。これで、「楊貴妃」の全種類ができたこととなります。

しかし、この赤に満足することなく、今もより鮮やかな赤を目指して努力しています。最終的には、鯉や金魚に見られるような赤を作りたいと思っています。

現在、「楊貴妃」の水槽は13あります。13の水槽に記号をつけ、交配をしています。何メダカを交配中でしょうかね！これは、今の所、秘密にしておきます。また、新たな発見がありましたら、報告します。

楊貴妃の特徴はこうです。小さいときは黄色ですが、Mサイズを越した頃から、婚姻色が緋色に変わっていきます。3代目の親でも色落ちがありません。固定率99%。色むらもありません。

「めだかやドットコム」の青木様に、「楊貴妃」の普通種、ホタル、ダルマ、ホタルダルマ、スモールアイをお送りしました。現在、写真撮影・新種審査をお願い中です。

### <第19話 2005年7月>

ツトム君にはビックリ！

昨年8月頃、ご来店。親子三人。20代の男性(ツトム君)とご両親。

それ以来、月に一度ぐらいの割で来店され、何種類かのメダカを買っていただきました。私が2メダカを発売すると、すぐに4匹お買い上げ。

今年7月3日、育てたメダカを見てほしいと来店。16匹のメダカでした。小錦半ダルマ、ス

モールアイダルマ、スモールアイ、ピュアブラック、スーパーピュアブラック、小次郎でした。どうやって作ったのでしょうか。Zメダカ4匹から約100匹産まれ、そのうちの16匹だそうです。続く7月17日に持ってきたのが18匹。私もビックリ！。約100匹中34匹がピュアブラック系でした。

「純黒はいますか？」とツトム君。「スーパーピュアブラックもいますよ」と私。ツトム君は純黒を確認すると、満足したとのことで、全部「めだかの館」に進呈してくれました。

私のお返しは、未来のメダカ。琥珀スモールアイ×琥珀スモールアイのF1の約15匹の水槽を私と半分にしました。

ツトム君の話では、はじめの頃に買った琥珀から4匹のスモールアイが生まれているとのこと。

どうなっているのツトム君！。当店での新種メダカ作り一番乗りはツトム君かな？彼から、ピュアホワイト、琥珀、その他たくさんメダカをいただきました。

#### <第20話 2005年8月>

8月も下旬に入りました。朝夕は、めっきり涼しくなりました。皆様はお元気のことと拝察いたします。

さて、<メダカの館 通信 第17号>で、セルフィンのニックネームを募集しました。私は、以前、セルフィンを実宗と呼んでいました。日本の名刀、実宗です。

その後、数人の方より、伊達政宗のヨロイとカブトに三日月が刀のような飾りがあり、それがセルフィンのヒレに似ているとのご意見をいただきました。

なるほどと思った私は、セルフィンのニックネームを実宗改め政宗にすることにしました。貴重なご意見をいただいた広島の方Nさん、埼玉の方Fさんには、政宗を送らせていただきました。ありがとうございました。

これからも、メダカのニックネームでよいものがありましたらお知らせください。首を長くして待っております。

20話で止まっていますが、2006年1月より、めだかの館ホームページ内に「100年メダカ～新種メダカの作出記～」として日記を書いています。2008年1月現状で、420ページと続いています。新種メダカを作る楽しさ、苦勞、メダカを通じて知り合った人々を紹介しながら、寒々ジョーク盛り沢山で、おもしろおかしくのおとぼけ日記です。

おそまつな日記ではありますが、機会がありましたらお立ち寄りください。

## ホームページのご紹介

- **めだかの館** <http://medakanoyakata.jp/>
- **100年メダカ～新種メダカの作出記～** (村長の日記)  
<http://medakanoya.exblog.jp/>
- **目高放浪記～珍種と呼ばれたメダカ達～**  
<http://sinshumedaka.blog42.fc2.com/>

めだかの館ではインターネット販売もおこなっております。セット販売、特価販売、日替り特価など、色々な企画で販売させて頂いております。またホームページでは色々なメダカの写真や、最新情報をご覧になることができます。皆様に楽しんで頂ける様なホームページを作成しております。ぜひ、ご覧下さいませ。

### めだかの館推薦サイト .....

#### ● enjoy MEDAKA

[http://www.geocities.jp/enjoy\\_medaka/](http://www.geocities.jp/enjoy_medaka/)

★メダカの飼育法、写真集、掲示板等、メダカの内容盛りだくさん★

#### ● めだかや.com

<http://www.medakaya.com/>

★メダカの総合情報サイト★

## めだかの販売案内

クロネコヤマトにて  
全国発送承ります。



### 《ご注文に関するお願い》

- ・1回のご発注は、合計最低額¥3,000からお願いします。
- ・支払方法はヤマトコレクトサービスに依ります。
- ・生体の発送のため、受取日・受取時間をお知らせください。
- ・別途、梱包料、代引手数料、運賃として、全国一律¥1,500請求させていただきます。
- ・不明な点は、直接電話でお問い合わせください。
- ・営業所止置も御利用下さい。
- ・365日、北海道～沖縄まで全国発送可能。安心して、おまかせ下さい。

TEL:0829-39-4711 FAX:0829-39-4701

携帯:090-9733-3914 (大場幸雄) 080-6303-0441 (大場秀幸)

### ★会員特典★

- ① 新種メダカを優先販売
- ② 交配メダカ、F1・F2の優先販売
- ③ 会員特価!
- ④ 季節特価!

# めだかの館 詳細MAP



山陽自動車道を廿日市ICで降りる。国道2号線を広島方面に進む、宮内交差点を左折、道なりに進み高速道路高架をくぐり、約500m先を左折。橋を渡った右側。



## 観光地

- | 観光地          | J R         | 高速道路 | 温泉地 |
|--------------|-------------|------|-----|
| ① 世界遺産 安芸の宮島 | めだかの館より車と船で | 約25分 |     |
| ② 世界遺産 原爆ドーム | めだかの館より車で   | 約40分 |     |
| ③ 大和ミュージアム   | めだかの館より車で   | 約60分 |     |
| ④ 錦帯橋        | めだかの館より車で   | 約40分 |     |
| ⑤ J R 宮島口駅   | めだかの館より車で   | 約10分 |     |
| ⑥ J R 宮内串戸駅  | めだかの館より車で   | 約10分 |     |
| ⑦ J R 新幹線広島駅 | めだかの館より車で   | 約50分 |     |
| ⑧ 山陽道 大野IC   | めだかの館より車で   | 約10分 |     |
| ⑨ 山陽道 廿日市IC  | めだかの館より車で   | 約10分 |     |
| ⑩ 山陽道 五日市IC  | めだかの館より車で   | 約30分 |     |

- |              |           |      |
|--------------|-----------|------|
| ⑪ 山陽道 広島IC   | めだかの館より車で | 約60分 |
| ⑫ 中国道 吉和IC   | めだかの館より車で | 約60分 |
| ⑬ 宮浜温泉       | めだかの館より車で | 約15分 |
| ⑭ アルカディアビレッジ | めだかの館より車で | 約10分 |
| ⑮ 小瀬川        | めだかの館より車で | 約20分 |
| ⑯ 羅漢温泉       | めだかの館より車で | 約30分 |
| ⑰ 魅惑の里       | めだかの館より車で | 約40分 |
| ⑱ 潮原温泉       | めだかの館より車で | 約40分 |
| ⑲ めがひら温泉     | めだかの館より車で | 約50分 |
| ⑳ 湯来温泉       | めだかの館より車で | 約40分 |

メダカの種類いろいろ  
めだかの館 平成20年度 No.7

---

2008年2月25日 発行

編 集 者 清水 誠 大場幸雄  
発 行 者 大場幸雄  
発 行 所 めだかの館（広島さつきセンター）  
〒738-0034 広島県廿日市市宮内3500-2  
TEL 0829-39-4711 FAX 0829-39-4701  
印刷・製本 株式会社 エル・コ

---

本誌掲載の記事、写真の無断転載を禁じます。



遊び心  
より豊かに

QRコードで  
ホームページへ  
アクセス



詳しくはP6をご覧ください

## めだかの館

〒738-0034 広島県廿日市市宮内3500-2  
広島さつきセンター 代表 大場 幸雄

TEL(0829)39-4711  
FAX(0829)39-4701  
携帯(大場幸雄)(090)9733-3914  
携帯(大場秀幸)(080)6303-0441

URL:<http://medakanoyakata.jp/> E-mail:[satukicenter@do7.enjoy.ne.jp](mailto:satukicenter@do7.enjoy.ne.jp)

定価500円